

特定非営利活動法人 (NPO法人)

全国学校軽音楽部協会 監修
発行



keionkyo.org



Twitter



Facebook



YouTube

DiGiRECO.JR

デジレコ・ジュニア 2023年2月号 VOL.59

全国の高等学校軽音楽部に無料配布！

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,038校



2023

いつでもどこでもできる基礎力アップ！

パート別

フィジカル・トレーニング

REPORT

第12回 愛知県高等学校軽音楽大会
第7回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会

KEIONGAKUBUSEMINAR
軽音楽がセミナ

名古屋会場 / 大阪会場

ロック解体新書 RADWIMPS / カナタハルカ、LISA / 炎、フレデリック / オドループ、Saucy Dog / 結、黒子首 / トビウオ愛記

全国学校軽音楽部協会は

「音楽やバンド活動を通して、これからの人材を育てる」 の理念のもと高等学校軽音楽部の活動を応援しています。

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。

私たちは、支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会



keionkyo.org

**クラウドファンディング
を始めました。1,000円～**



**一回限りの都度寄付
を始めました。1,000円～**



**毎月支援する継続寄付
を始めました。1,000円～**



ご支援いただいている特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団
一般社団法人サトヤマカイギ
大阪音楽大学
名古屋芸術大学
宝塚大学
日本工学院専門学校
専門学校 ESP エンタテインメント東京
専門学校東京ビジュアルアーツ
専門学校名古屋ビジュアルアーツ
ビジュアルアーツ専門学校
名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
フェンダーミュージック株式会社
有限会社エムエージー
Ableton 株式会社
株式会社トップトラベルサービス
株式会社福々家

特定非営利活動法人 (NPO法人) **全国学校軽音楽部協会** 監修 発行

DiGiRECO.JR

DiGiRECO.JR デジレコ・ジュニア

■DiGiRECO.JR VOL.59

■FEB・2023 (第12巻2号通巻59号)

■創刊：平成25年12月18日 (水)

■発行：令和5年1月20日 (金)

■監修・発行 / 特定非営利活動法人 (NPO法人)

全国学校軽音楽部協会

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405

TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900

E-Mail：info@keionkyo.org

■企画・編集 / 株式会社ミュージックネットワーク

中学校・高等学校の部活動を応援する！軽音楽部マガジン

デジレコ・ジュニア
2023年2月号 VOL.59

全国の高等学校軽音楽部に無料配布！

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,038校

本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用の際は当協会までご一報ください。

編集長の言葉 ...4

配布校リスト ...6

お知らせ

軽音協イベント・カレンダー ...5

REPORT

軽音学ぶセミナー for クリエイター

名古屋会場：名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 ...10

大阪会場：ビジュアルアーツ専門学校 ...11

第12回 愛知県高等学校軽音楽大会 ...12

第7回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会 ...14

特集

いつでもどこでもできる基礎力アップ！

パート別 **フィジカル・トレーニング** ...16

CONTENTS

ロック解体新書 ..24

RADWIMPS / カナタハルカ

LiSA / 炎

フレデリック / オドループ

Saucy Dog / 結

黒子首 / トビウオ愛記

MUSIQUIZ ～軽音ミュージッククイズ～⑨ ...29

音楽 / エンタメ業界の仕事 2023 ...30



2023 今年の抱負

遅ればせながら…新年明けましておめでとうございます。今年の干支はうさぎですので、軽音楽部にとって、また当協会にとっても「飛躍の年」となるように頑張りたいと思います。新年ですので、あれもしたい、これもしたい…と、山のような抱負があると思いますが（ボク自身もそうです…笑）、いろいろと考える前に、まずは「軽音楽部」の足元を確認したいと思います。ボク自身、とすると「目的」と「手段」が入れ替わることが多々ありますので、折に触れて、原点を振り返り、「目的と目標」「使命と展望」を見直しています。それでも忙しくなってくるとごちゃごちゃしてしまうので、まだまだ未熟者だなと感じるわけです…苦笑。

軽音楽部の皆さんは日頃から個人練習やバンド練習に励んでいることと思います。個々の担当楽器の演奏テクニックを磨くことは楽器という「道具の使い方」を習得することであり、楽器の演奏で自分を表現する際に必要になる基礎的な技術です。バンドの演奏は一人ではできず、メンバーがそれぞれのパートを受け持ち、全体のアンサンブルとして聴衆に伝えるわけですので、バンド練習も大切な要素です。でも、楽器の演奏技術の習得やアンサンブルの向上が部

活動の「目的」でしょうか。軽音楽部員のほとんどはプロのミュージシャンを目指していません…よね？ 部活動は「学校教育の一環」として位置付けられています。皆さんの高校がプロのミュージシャンを育てる職業訓練校でもない限り、楽器の演奏技術の習得は「学校教育の一環」ではないはずです。また、部活動が息抜きや余暇の楽しみとして存在するのであれば「学校教育の一環」とは呼ばないはずです。では、部活動としての軽音楽部が「学校教育の一環」として存在する意義や理由はどこにあるのでしょうか。楽器の演奏技術の向上ではなさそうですね。大会で優勝することでもなさそうです。バンドのメンバーが仲良くなることでもなさそうですね。ぜひ、皆さん自身で考えてみてください。何のために勉強をするのか、何のために学校へ行くのか…に通じるかもしれません。

最後は禅問答みたいになってしまいましたが、ボク自身も部活動としての軽音楽部の「目的と目標」を考え、軽音楽部のさらなる普及や発展に向けて、行動する1年にしたいと思います。皆さんも限られた時間の部活動の中で、何を吸収すべきかを考えてみてください。では、また次号でお会いしましょう！



編集長 三谷佳之

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 理事長
日本部活動学会 (JESECA) 理事
株式会社ミュージックネットワーク 代表取締役
mitani@keionkyo.org
Twitter @yoshiyukimitani



全国学校軽音楽部協会



DIGIRECO.JR VOL.59 電子版



YouTubeチャンネル

三谷佳之 YOSHIYUKI MITANI

小学生で電気に興味を持つ。中学生でプリティッシュ・ロックに目覚め、将来はイギリスに住む！と妄想。英語が必須と実感。エレキ・ギターを弾きつつ、ジブセサイザーに興味を持ち、楽器よりも電気に傾倒。国立奈良工業高等専門学校/電気工学科に進学。ロックバンドを組むが、長続きせず。在学中に興味の対象が広告宣伝や販売促進、マーケティングに移る。某電子楽器メーカーに就職後、最新テクノロジーだった通信事業に興味を持ち、9年間の勤務を経て、独立。株式会社ミュージックネットワークを設立。インターネットのない時代から音楽と通信ネットワークの分野で数々の日本初のビジネスを立ち上げる。

2000年の少し前、インターネット業界では当たり前の「コンテンツは無料」というコンセプトを雑誌に応用した「無料雑誌」を思いつき、創刊。2013年、高校の軽音楽部向けの無料雑誌「DIGIRECO.JR」を創刊。2018年、大学の軽音楽サークル向けの無料雑誌「DIGIRECO.SR」を創刊。同年、特定非

営利活動法人「全国学校軽音楽部協会」を設立。2021年、日本部活動学会理事に就任。

音楽面では約15年前にバンドへの興味が再燃。ハードロック系イベントを主催する。その後、主催するよりも出演する方が楽しそう...というところで方向転換。高専生時代から好きだったヘヴィメタルの元祖「BLACK SABBATH」のトリビュート・バンド「BLOOD SABBATH」を結成。年間12回以上のライブを展開。編集長の立場を利用して、BLACK SABBATHのメンバーに会うなど…やりたい放題の公私混同。2013年5月、直訳ロッカーの王様と日本語でBLACK SABBATHの名曲を演奏したアルバム「黒い安息日伝説」を発売。好調な売れ行きに気を良くして、現在、第2弾を計画中。2015年5月、BLACK SABBATHのギタリストであるトニー・アイオミのトリビュート・アルバムに参加。世界デビューを果たす。

- 会社のホームページで設立以来の活動を紹介しています



- BLOOD SABBATH (www.bloodsabbath.com)



軽音協イベント・カレンダー

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学ぶセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

複数の高校を集めた技術講習会です
パートごとに初級・応用の講義を実施
生徒はプロの講師から直接教わります
参加校・顧問間の交流を促進します

1/29 (日) 群馬県

群馬県立新田暁高等学校

3/28 (火) 愛知県

専門学校名古屋ビジュアルアーツ



KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

練習の成果を発表し、他校からも学べる練習試合

複数の高校を集めた合同演奏会です
演奏後、講師から講評が受けられます
他校の演奏を見聞きし、参考にします
参加校・顧問間の交流を促進します

2/4 (土) - 5 (日) 東京都

専門学校東京ビジュアルアーツ

演奏だけでなく、音響や照明について
学び、操作までできる！

2/25 (土) 東京都

専門学校東京ビジュアルアーツ



特定非営利活動法人 (NPO法人)

全国学校軽音楽部協会

TEL : 045-913-0901 info@keionkyo.org





配布校募集!

全国の高等学校で、軽音楽部のある2,038校に無料配布しています。

この欄に記載されていない高等学校で本誌を希望される場合は、お手数ですが、当協会までご一報ください。また、誌面に対するご意見・ご要望などがありましたら下記までお寄せください。本誌は広告収入で成り立っており、配布に関する費用は一切、かかりません。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 TEL : 045-913-0901 / FAX : 045-913-1900

Table listing schools and their light music clubs across various Japanese prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, and Kyushu.

4864	小平市	東京都立小平南高等学校	フォークソング部	4110	横浜市	神奈川県立松陽高等学校	軽音楽部
4865	小平市	白梅学園高等学校	軽音楽部	9488	横浜市	桐蔭学園高等学校	軽音楽部
4920	昭島市	東京都立昭島高等学校	軽音楽部	9453	横浜市	桐蔭学園中学校男子部	軽音楽部
4784	新島村	東京都立新島高等学校	軽音楽部	4142	横浜市	神奈川県立元石川高等学校	軽音楽部
4785	神奈川	東京都立神奈川高等学校	軽音楽部	6831	横浜市	神奈川県立石ヶ丘高等学校	軽音楽部
4012	清瀬市	東京都立清瀬高等学校	民族音楽部	6994	横浜市	神奈川県立田奈森高等学校	軽音楽部
4936	西多摩郡	東京都立西多摩高等学校	軽音楽部	4106	横浜市	神奈川県立三ツ川高等学校	軽音楽部
4937	西多摩郡	東京都立西多摩高等学校	軽音楽部	6765	横浜市	神奈川県立在田高等学校	軽音楽部
3992	西東京市	東京都立保谷高等学校	現代音楽部	6846	横浜市	神奈川県立新栄高等学校	バンド部
4938	西東京市	武蔵野女子学院高等学校	軽音楽部	6874	横浜市	神奈川県立川和高等学校	軽音楽部
4937	西東京市	文華女子高等学校	軽音楽部	4122	横浜市	中央大学附属横浜中学校	高等学校
4003	青梅市	東京都立青梅総合高等学校	軽音楽部	6759	東京都	神奈川県立梨川高等学校	軽音楽部
4939	青梅市	東京都立多摩高等学校	軽音楽部	6762	東京都	神奈川県立綾瀬高等学校	軽音楽部
4973	多摩市	東京都立多摩高等学校	軽音楽部	6763	東京都	神奈川県立綾瀬高等学校	軽音楽部
4972	多摩市	東京都立大島高等学校	軽音楽部	6832	伊勢原市	自修館中等教育学校	軽音楽部
4783	大島町	東京都立大島海洋国際高等学校	音楽部	4081	伊勢原市	神奈川県立伊志田高等学校	軽音楽部
3991	町田市	桜葉林高等学校	軽音楽部	6082	伊勢原市	神奈川県立伊勢原高等学校	軽音楽部
4007	町田市	東京都立川南高等学校	軽音楽部	4769	鎌倉市	横浜實業高等学校	軽音楽部
5005	町田市	東京都立町田高等学校	軽音楽部	6771	横浜市	横浜新興立機楽総合高等学校	Play&Produce部
5003	町田市	東京都立町田高等学校	軽音楽部	4140	横浜市	三浦学院高等学校	軽音楽部
5007	町田市	東京都立町田総合高等学校	軽音楽部	4108	横浜市	湘南学院高等学校	軽音楽部
5006	町田市	東京都立野津田高等学校	軽音楽部	6769	横浜市	神奈川県立横浜工業高等学校	軽音楽部
5012	町田市	和光高等学校	ロック研究部	6772	横浜市	神奈川県立横浜工業高等学校	現代音楽部
5018	調布市	東京都立調布高等学校	軽音楽部	6773	横浜市	神奈川県立横浜実業高等学校	現代音楽部
5013	調布市	東京都立調布高等学校	軽音楽部	6800	横浜市	神奈川県立横浜洋学高等学校	軽音楽部
4024	調布市	東京都立調布高等学校	軽音楽部	6888	横浜市	神奈川県立津久井高等学校	ロック部
5018	東大塚市	東京都立久留米西高等学校	ギター部	6889	横浜市	神奈川県立津久井高等学校	フォークソング部
5017	東大塚市	東京都立久留米総合高等学校	軽音楽部	6801	海老名市	神奈川県立海老名高等学校	フォークソング部
5020	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	ライトミュージック部	4123	海老名市	神奈川県立中央農業高等学校	軽音楽部
4028	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	軽音楽部	4079	海老名市	神奈川県立海老名高等学校	軽音楽部
5044	東大塚市	日本体育大学附属高等学校	軽音楽部	6803	海老名市	中央学院高等学校	軽音楽部
4073	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	軽音楽部	6803	海老名市	中央学院高等学校	フォークソング部
5022	東大塚市	明法高等学校	軽音楽部	6804	鎌倉市	神奈川県立鎌倉高等学校	日会部
5023	東大塚市	東京都立東大塚高等学校	フォークソング部	6833	鎌倉市	神奈川県立七里ヶ浜高等学校	軽音楽部
4029	日野市	東京都立日野高等学校	軽音楽部	6849	鎌倉市	神奈川県立深沢高等学校	軽音楽部
5025	日野市	東京都立日野高等学校	軽音楽部	4086	鎌倉市	神奈川県立大船高等学校	軽音楽部
5035	八王子市	順理館高等学校	軽音楽部	6862	鎌倉市	清泉学院女子高等学校	軽音楽部
5040	八王子市	共立女子第二高等学校	サウンドソサエティ部	6887	茅ヶ崎市	神奈川県立茅ヶ崎高等学校	軽音楽部
3982	八王子市	工学院大学附属高等学校	軽音楽部	4120	茅ヶ崎市	神奈川県立茅ヶ崎西高等学校	軽音楽部
4047	八王子市	聖パウロ学園高等学校	軽音楽部	4121	茅ヶ崎市	神奈川県立茅ヶ崎北高等学校	軽音楽部
5041	八王子市	帝京八王子高等学校	軽音楽部	6893	茅ヶ崎市	神奈川県立鶴岡高等学校	軽音楽部
5044	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	4076	厚木市	厚木中央高等学校	軽音楽部
5036	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	6819	厚木市	神奈川県立厚木高等学校	軽音楽部
5029	八王子市	東京都立八王子義塾高等学校	軽音楽部	6820	厚木市	神奈川県立厚木高等学校	軽音楽部
4027	八王子市	東京都立八王子高等学校	軽音楽部	4077	厚木市	神奈川県立厚木高等学校	軽音楽部
5032	八王子市	東京都立富士森高等学校	軽音楽部	4078	厚木市	神奈川県立厚木高等学校	軽音楽部
4066	八王子市	八王子学園八王子高等学校	ギター部	6822	厚木市	神奈川県立厚木北高等学校	軽音楽部
5064	府中市	東京都立府中高等学校	サウンド部	6808	厚木市	神奈川県立厚木北高等学校	軽音楽部
4031	府中市	東京都立府中工業高等学校	軽音楽部	6827	座間市	神奈川県立座間高等学校	軽音楽部
5062	府中市	東京都立府中高等学校	ボビュレーション部	4105	座間市	神奈川県立座間高等学校	軽音楽部
3986	府中市	東京都立府中西高等学校	軽音楽部	4100	座間市	神奈川県立座間総合高等学校	軽音楽部
5063	府中市	東京都立府中東高等学校	軽音楽部	6909	三浦市	三浦初声高等学校	軽音楽部
3987	府中市	拓殖中学校	軽音楽部	6828	三浦市	神奈川県立三浦郡高等学校	総合音楽部
5067	彦根市	彦根第一高等学校	フォークソング部	6760	川崎市	旭丘高等学校	軽音楽部
5068	彦根市	東京都立彦根高等学校	軽音楽部	6936	川崎市	神奈川県立彦根高等学校	軽音楽部
5069	武蔵野市	東京都立武蔵野高等学校	フォークソング部	6837	小田原市	神奈川県立小田原高等学校	軽音楽部
5070	武蔵野市	聖徳学園高等学校	軽音楽部	4087	小田原市	神奈川県立小田原東高等学校	軽音楽部
4035	武蔵野市	東京都立武蔵野高等学校	軽音楽部	4114	小田原市	神奈川県立小田原西高等学校	電気音楽部
5072	武蔵野市	藤村女子高等学校	軽音楽部	6880	小田原市	相洋高等学校	軽音楽部
4021	福生市	東京都立多摩工業高等学校	軽音楽部	6855	茅野市	神奈川県立茅野高等学校	サウンド研究部
4032	福生市	東京都立福生高等学校	ロック部	4113	茅野市	神奈川県立茅野高等学校	軽音楽部
4045	川崎市	昭和第一学園高等学校	軽音楽部	6856	茅野市	神奈川県立茅野総合高等学校	軽音楽部
5141	川崎市	東京都立砂川高等学校	軽音楽部	6857	茅野市	神奈川県立立見高等学校	フォークソング部
4022	川崎市	東京都立立見高等学校	軽音楽部	6858	茅野市	神奈川県立立見高等学校	軽音楽部
5142	川崎市	立川女子高等学校	軽音楽部	4113	蓮子	蓮子開成中学校	高等学校
6780	横浜市	横浜市立横濱サイエンスフロンティア高等学校	軽音楽部	6756	川崎市	セガ女子高等学校	軽音楽部
6781	横浜市	横浜市立工業高等学校	軽音楽部	6823	川崎市	横浜光高等学校	軽音楽部
6813	横浜市	横浜市立南高等学校	軽音楽部	6823	川崎市	神奈川県立南高等学校	軽音楽部
6890	横浜市	神奈川県立鶴見高等学校	軽音楽部	6834	川崎市	神奈川県立住吉高等学校	軽音楽部
6861	横浜市	神奈川県立鶴見総合高等学校	軽音楽部	6847	川崎市	神奈川県立新城高等学校	軽音楽部
6865	横浜市	聖コゼツ学園中学校	高等学校	4112	川崎市	神奈川県立菅高等学校	軽音楽部
6900	横浜市	白鵬女子高等学校	軽音楽部	6863	川崎市	神奈川県立菅高等学校	軽音楽部
6911	横浜市	法政大学女子高等学校	軽音楽部	4080	川崎市	神奈川県立生田高等学校	軽音楽部
4149	横浜市	横浜創英中学校	高等学校	6869	川崎市	神奈川県立川崎工科高等学校	軽音楽部
6850	横浜市	神奈川県立川崎高等学校	軽音楽部	4092	川崎市	神奈川県立川崎高等学校	軽音楽部
4148	横浜市	神奈川県立横浜磯城高等学校	ボビュレーション部	4093	川崎市	神奈川県立川崎北高等学校	軽音楽部
6844	横浜市	神奈川県立横浜磯城高等学校	軽音楽部	4119	川崎市	神奈川県立大摩高等学校	軽音楽部
6851	横浜市	神奈川県立神奈川工業高等学校	音楽部	4117	川崎市	神奈川県立大摩高等学校	軽音楽部
6876	横浜市	神奈川県立神奈川工業高等学校	軽音楽部	6913	川崎市	神奈川県立大森高等学校	軽音楽部
6817	横浜市	神奈川県立神奈川工業高等学校	軽音楽部	6914	川崎市	神奈川県立大森総合高等学校	軽音楽部
4151	横浜市	神奈川県立横浜平沼高等学校	軽音楽部	6870	川崎市	川崎市立南高等学校	軽音楽部
6758	横浜市	フェリス学院中学校	高等学校	4084	川崎市	川崎市立南高等学校	軽音楽部
4141	横浜市	横浜市立みなと総合高等学校	軽音楽部	6871	川崎市	川崎市立南高等学校	軽音楽部
6799	横浜市	横浜市立みなと総合高等学校	軽音楽部	6872	川崎市	川崎市立川崎高等学校	定期部
6797	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6873	川崎市	川崎市立川崎総合科学高等学校	軽音楽部
6781	横浜市	横浜市立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4116	川崎市	横浜市立洗心高等学校	軽音楽部
6782	横浜市	横浜市立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4128	川崎市	日本女子大学附属中学校	高等学校
6779	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4139	川崎市	法政大学第二高等学校	音楽部
6792	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4099	相模原市	光明学園相模原高等学校	音楽部
4145	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4130	相模原市	神奈川県立相模原高等学校	軽音楽部
6785	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4131	相模原市	神奈川県立相模原高等学校	軽音楽部
6817	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6842	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6817	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4090	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6835	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4111	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6910	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6853	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6776	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4102	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
4083	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4104	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6902	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4143	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6778	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6879	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6783	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4074	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6793	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4101	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6810	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6895	相模原市	神奈川県立上清高等学校	軽音楽部
6902	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6812	足柄上郡	神奈川県立足柄上郡高等学校	軽音楽部
6815	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6930	足柄上郡	神奈川県立足柄上郡高等学校	軽音楽部
6826	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6881	足柄上郡	神奈川県立足柄上郡高等学校	軽音楽部
6811	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4118	足柄上郡	立花学園高等学校	軽音楽部
4098	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6884	大和市	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
6861	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6885	大和市	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
6903	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6886	大和市	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
6784	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6887	大和市	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
4146	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4088	大和市	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
6843	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4085	中部	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
6904	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4127	中部	神奈川県立大和高等学校	軽音楽部
6787	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4087	藤沢市	藤沢市立藤沢高等学校	軽音楽部
6767	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4056	藤沢市	藤沢市立藤沢高等学校	軽音楽部
6794	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4108	藤沢市	藤沢市立藤沢高等学校	軽音楽部
6796	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6839	藤沢市	湘南白百合学園中学校	高等学校
6789	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6841	藤沢市	湘南白百合学園中学校	高等学校
6795	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6839	藤沢市	神奈川県立湘南高等学校	軽音楽部
6761	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	1326	藤沢市	神奈川県立藤沢工科高等学校	軽音楽部
4094	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4136	藤沢市	神奈川県立藤沢工科高等学校	軽音楽部
6880	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4138	藤沢市	神奈川県立藤沢工科高等学校	軽音楽部
6790	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4137	藤沢市	神奈川県立藤沢総合高等学校	軽音楽部
4129	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6866	藤沢市	聖園女子学院高等学校	軽音楽部
4095	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4135	藤沢市	藤沢市立藤沢高等学校	軽音楽部
4150	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6896	藤沢市	藤沢市立藤沢高等学校	軽音楽部
6859	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4126	藤沢市	日本大学藤沢高等学校	音楽部
4115	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	1075	南足柄市	神奈川県立南足柄高等学校	軽音楽部
6824	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4132	平塚市	神奈川県立平塚高等学校	軽音楽部
6775	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6906	平塚市	神奈川県立平塚高等学校	軽音楽部
4089	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4133	平塚市	神奈川県立平塚高等学校	軽音楽部
6899	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4134	平塚市	神奈川県立平塚高等学校	軽音楽部
4107	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	6908	平塚市	神奈川県立平塚高等学校	軽音楽部
4147	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部	4232	さいたま市	さいたま市立浦和高等学校	音楽部
6798	横浜市	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	軽音楽部				

4231	さいたま市	さいたま市立大宮北高等学校	軽音楽部	5187	佐倉市	千葉県立佐倉高等学校	軽音楽部
6659	さいたま市	浦和ルーテル学院高等学校	音楽部	5188	佐倉市	千葉県立佐倉高等学校	軽音楽部
6660	さいたま市	浦和学院高等学校	軽音楽部	5193	山武市	千葉県立東葛高等学校	ギター部
4241	さいたま市	浦和の星女子高等学校	軽音楽部	5198	四街道市	千葉県立東葛高等学校	フォークソング部
4238	さいたま市	浦和学院高等学校	軽音楽部	5196	四街道市	千葉県立東葛高等学校	軽音楽部
6668	さいたま市	浦和学院高等学校	軽音楽部	5201	原市	千葉県立東葛高等学校	軽音楽部
4158	さいたま市	埼玉工業高等学校	軽音楽部	5202	原市	千葉県立東葛高等学校	軽音楽部
4161	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5204	原市	千葉県立東葛高等学校	軽音楽部
4163	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5216	川口市	財団法人女子学院高等学校	軽音楽部
4166	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5221	川口市	川口市立高等学校	軽音楽部
4165	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5218	川口市	昭和三十九年制高等学校	軽音楽部
4164	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5208	川口市	埼玉県立川南高等学校	音楽部
4160	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5207	川口市	千葉県立川南高等学校	軽音楽部
4167	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5211	川口市	千葉県立川南高等学校	軽音楽部
4168	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5220	川口市	千葉県立川南高等学校	軽音楽部
4169	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5215	川口市	千葉県立川南高等学校	軽音楽部
4162	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5219	川口市	千葉県立川南高等学校	軽音楽部
4154	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5221	川口市	千葉県立川南高等学校	軽音楽部
4165	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5235	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4156	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5234	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
6724	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5228	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4157	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5230	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
6725	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5229	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4153	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5236	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4159	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5237	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4237	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5238	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4236	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5240	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4188	さいたま市	埼玉県立浦和高等学校	軽音楽部	5239	松戸市	千葉県立松戸高等学校	軽音楽部
4206	羽生市	埼玉県立羽生高等学校	軽音楽部	5247	千葉市	千葉県立北高等学校	軽音楽部
4240	越谷市	埼玉県立越谷高等学校	軽音楽部	5270	千葉市	千葉県立北高等学校	軽音楽部
4207	越谷市	埼玉県立越谷高等学校	軽音楽部	5271	千葉市	千葉県立北高等学校	軽音楽部
4209	越谷市	埼玉県立越谷高等学校	軽音楽部	5261	千葉市	千葉県立北高等学校	軽音楽部
4210	越谷市	埼玉県立越谷高等学校					

5459	那珂市	茨城県水戸工業専門学校 軽音楽部	7203	北杜市	帝京第三高等学校 音楽同好会	7666	瀬戸市	聖堂中学校・高等学校 軽音楽部	5707	京都市	京都聖母学院中学校・高等学校 軽音楽部
5466	日立市	茨城キリスト教学園高等学校 軽音楽部	7218	北杜市	北杜市立甲斐高等学校 ギター同好会	7668	西條市	愛知県立西尾高等学校 ギター部	5677	京都市	京都府立南丹高等学校 軽音楽部
5464	日立市	茨城県立日立商業高等学校 軽音楽部		長野県		7694	知多郡	愛知県立桂南高等学校 ギター部	5681	京都市	京都府立桂高等学校 軽音楽部 (K-LWC)
5460	日立市	茨城県立日立第一高等学校 軽音楽部	7297	安曇野市	長野県安曇野高等学校 軽音楽部	7704	知多郡	愛知県立内海高等学校 音楽部	5660	京都市	京都府立嵯峨野高等学校 軽音楽部
5463	日立市	茨城県立日立第二高等学校 軽音楽部	7306	安曇野市	長野県穂高高等学校 軽音楽部	7710	知多郡	日本福祉大学付属高等学校 音楽部	5710	京都市	京都府立山城高等学校 軽音楽部
5468	日立市	明秀学園日立第二高等学校 音楽部	7307	安曇野市	長野県穂高高等学校 LMC 部	7679	知多郡	愛知県立守山高等学校 ギター部	5685	京都市	京都府立倉敷高等学校 軽音楽部
5470	鉾田市	茨城県立鉾田第一高等学校 軽音楽部	7312	安曇野市	長野県穂高高等学校 軽音楽部	7689	東海市	愛知県立旗塚高等学校 軽音楽同好会	9526	京都市	京都府立嵯峨野高等学校 軽音楽部
5474	嶋川村	愛媛県学園附属麗々高等学校 軽音楽部	7324	伊那市	長野県伊那北高等学校 軽音楽部	7697	東海市	愛知県立旗塚高等学校 フォークソング部	5702	京都市	京都府立東横高等学校 フォークソング部
5475	嶋川村	茨城県立嶋川第一高等学校 軽音楽部	7235	伊那市	長野県伊那南高等学校 軽音楽部	7685	日進市	中部大学第一高等学校 軽音楽部	5704	京都市	京都府立山崎高等学校 軽音楽部
5473	嶋川村	茨城県立嶋川第二高等学校 軽音楽部	7251	伊那市	長野県高遠高等学校 軽音楽部	7712	半田市	愛知県立半田工業高等学校 音楽部	5703	京都市	京都府立山崎高等学校 軽音楽部
5476	嶋川村	茨城県立嶋川南高等学校 軽音楽部	7237	塩尻市	長野県塩田志学高等学校 軽音楽部	7713	半田市	愛知県立半田高等学校 フォークソング部	5682	京都市	京都府立山崎高等学校 軽音楽部
			7295	塩尻市	長野県山田高等学校 ギター部	7714	半田市	愛知県立半田高等学校 軽音楽部	5675	京都市	京都府立山崎高等学校 フォークソング部
5491	宇都宮市	宇都宮短期大学附属高等学校 軽音楽部	7239	岡谷市	長野県岡谷高等学校 軽音楽部	7567	尾道市	愛知県立尾道高等学校 軽音楽部	5669	京都市	京都府立北高等学校 音楽研究部
5482	宇都宮市	栃木県立宇都宮女子高等学校 軽音楽部	7231	下伊那郡	長野県阿智高等学校 軽音楽部	7726	豊田市	愛知県立豊田高等学校 音楽部	5672	京都市	京都文教高等学校 軽音楽部
5484	宇都宮市	栃木県立宇都宮高等学校 軽音楽部	7232	下伊那郡	長野県阿南高等学校 軽音楽部	7727	豊田市	豊田市立豊田高等学校 音楽部	5695	京都市	大谷高等学校 軽音楽部
5487	宇都宮市	栃木県立宇都宮白根高等学校 軽音楽部	7246	茅野市	長野県茅野高等学校 軽音楽部	7730	豊田市	豊田中央高等学校 軽音楽部	5670	京都市	同志社高等学校 軽音楽部
5492	宇都宮市	日々輝学園高等学校 軽音楽部	7323	茅野市	東海大学付属高等学校 音楽部	9500	豊田市	ルネサンス豊田高等学校 軽音楽部	5678	京都市	同志社女子高等学校 軽音楽部
5498	佐野市	栃木県立佐野高等学校 軽音楽部	7248	駒川町	長野県駒川根工業高等学校 軽音楽部	7735	豊田市	愛知県立豊田工業高等学校 音楽部	5679	京都市	平谷女子中学校・高等学校 軽音楽部
5506	鹿沼市	栃木県立鹿沼南高等学校 軽音楽部	7248	駒川町	長野県駒川根工業高等学校 軽音楽部	7736	豊田市	愛知県立豊田高等学校 ギター部	5712	京都市	滋賀高等学校 軽音楽同好会
9507	小山市	小山工業高等専門学校 軽音楽部	7236	佐久市	佐久平総合技術専門学校 軽音楽部	7737	豊田市	愛知県立豊田高等学校 ギター部	5691	京都市	滋賀総合高等学校 軽音楽部
5509	小山市	栃木県立小山市南高等学校 軽音楽部	5639	佐久市	長野県若井高等学校 軽音楽部	7741	豊田市	愛知県立豊田高等学校 軽音楽部	5713	京都市	京都府立陽明高等学校 フォークソング部
5508	小山市	栃木県立小山市北高等学校 軽音楽部	7314	佐久市	長野県野沢南高等学校 軽音楽部	7693	豊田市	山根高等学校 軽音楽部	5716	京都市	京都府立陽明高等学校 軽音楽部
5524	足利市	足利短期大学附属高等学校 軽音楽部	7315	佐久市	長野県野沢北高等学校 軽音楽部	9537	豊田市	信託工業専門学校 軽音楽部	5718	相模原市	京都府立陽明高等学校 通信課程 ギター同好会
5517	足利市	栃木県立足利高等学校 軽音楽部	7256	小諸市	長野県小諸高等学校 軽音楽部	7663	豊田市	星城高等学校 軽音楽部	5709	長岡京市	大谷総合高等学校 軽音楽部
5519	足利市	栃木県立足利南高等学校 フォーク部	7257	小諸市	長野県小諸商業高等学校 軽音楽部	9525	名古屋市	KTC おおぞら高等学校 名古屋キャンパス	5703	舞鶴市	舞鶴工業専門学校 軽音楽部
5523	足利市	白滝大学足利南高等学校 Music Art Club	7224	松本市	松山学園高等学校 軽音楽部	9530	名古屋市	クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス	5728	福知山市	京都府立福知山高等学校 音楽部
5527	大田原市	栃木県立大田原女子高等学校 フォークソング部	7229	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	9447	名古屋市	愛知県芸術高等学校 ミュージック部			
5532	栃木市	栃木県立栃木高等学校 軽音楽部	7228	松本市	信濃つむぎ高等学校 軽音楽部	7563	名古屋市	愛知県立愛知商業高等学校 音楽部	8040	大阪市	大阪市立桜宮高等学校 音楽部
5539	栃木市	栃木県立栃木工業高等学校 ギター部	7233	松本市	長野県梓川高等学校 軽音楽部	7566	名古屋市	愛知県立北高等学校 軽音楽部	4272	大阪市	大阪市立西高等学校 軽音楽部
5535	栃木市	栃木県立栃木女子高等学校 軽音楽部	7260	松本市	長野県松本嶺川高等学校 軽音楽部	7575	名古屋市	愛知県立信濃高等学校 軽音楽部	8047	大阪市	大阪市立高島高等学校 定時制課程 軽音楽部
5536	那須市	栃木県立那須高等学校 軽音楽部	7261	松本市	長野県松本嶺川高等学校 軽音楽部	7578	名古屋市	愛知県立信濃高等学校 軽音楽部	8047	大阪市	大阪市立高島高等学校 軽音楽部
5547	日光市	栃木県立日光工業高等学校 軽音楽部	7262	松本市	長野県松本工業高等学校 軽音楽部	7648	名古屋市	愛知県立信濃高等学校 軽音楽部	8011	大阪市	大阪市立野田工業高等学校 軽音楽部
5546	日光市	栃木県立日光高等学校 ギター部	7263	松本市	長野県松本志志高等学校 ギター部	7656	名古屋市	愛知県立信濃高等学校 軽音楽部	7986	大阪市	岸浪高等学校 軽音楽部
			7264	松本市	長野県松本筑前高等学校 音楽部	7683	名古屋市	愛知県立日中商業高等学校 フォークソング部	8039	大阪市	大阪市立吹くやの高等学校 軽音楽部
5557	安中市	新潟県蘭高等学校 軽音楽部	7265	松本市	長野県松本須々ヶ丘高等学校 FMC 部	7684	名古屋市	愛知県立日村高等学校 音楽部	7979	大阪市	大阪市立西宮高等学校 NMC 軽音楽部
5562	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎興隆高等学校 軽音楽部	7266	上伊那郡	長野県上伊那商業高等学校 軽音楽部	7763	名古屋市	愛知県立名古屋西高等学校 J & F 部	8044	大阪市	大阪市立東洋高等学校 軽音楽部
5558	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎高等学校 音楽部	7282	上伊那郡	長野県辰野高等学校 軽音楽部	7766	名古屋市	愛知県立名古屋南高等学校 軽音楽部	8019	大阪市	大阪府立尾島高等学校 軽音楽部
5560	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎清明高等学校 軽音楽部	7227	上田市	長野県上田高等学校 軽音楽部	7769	名古屋市	愛知県立明和高等学校 PM 部	7943	大阪市	興隆高等学校 軽音楽部
5565	甘藷郡	群馬県立下田高等学校 軽音楽部	7247	上田市	長野県丸下修学館高等学校 軽音楽部	7773	名古屋市	愛知県立緑丘高等学校 軽音楽部	7976	大阪市	四天王寺高等学校 軽音楽部
5560	桐生市	群馬県立桐生清波高等学校 軽音楽部	7267	上田市	長野県上田高等学校 現代音楽班	7560	名古屋市	愛知県産業大学工業高等学校 軽音楽部	8003	大阪市	清風高等学校 軽音楽部
5577	妻善郡	群馬県立妻善中央高等学校 音楽部	7268	上田市	長野県上田曲曲高等学校 軽音楽部	7610	名古屋市	愛知県産業大学工業高等学校 軽音楽部	4276	大阪市	大阪市立大谷高等学校 軽音楽部
5579	妻善郡	群馬県立長野原高等学校 軽音楽部	7269	上田市	長野県上田中央高等学校 軽音楽・フォーク班	9499	名古屋市	筑波フジナエ専門学校 高校課程 軽音楽部	7589	大阪市	大阪市立高島高等学校 軽音楽部
5582	高崎市	群馬県立長野原高等学校 軽音楽部	7270	上田市	長野県上田東高等学校 軽音楽部	7613	名古屋市	金城学院高等学校 軽音楽部	8022	大阪市	大阪府立清水谷高等学校 ギター部
5584	高崎市	群馬県立高崎高等学校 軽音楽部	7252	高崎市	群馬県高崎高等学校 軽音楽部	7614	名古屋市	聖学院高等学校 軽音楽部	9130	大阪市	大阪府立大塚高等学校 YMW 部
5591	高崎市	高崎健康福祉大学高崎高等学校 軽音楽部	7245	高崎市	長野県下高田高等学校 軽音楽部	7632	名古屋市	名古屋学院高等学校 軽音楽部	8061	大阪市	大阪府立高島高等学校 軽音楽部
5590	高崎市	高崎市立高崎経済大学附属高等学校 軽音楽部	7305	高崎市	長野県富士見高等学校 バンド部	7657	名古屋市	名女子学園高等学校 ギター部	7963	大阪市	大阪府立高島高等学校 軽音楽部
5592	高崎市	高崎高専大学附属高等学校 軽音楽部	7271	諏訪市	長野県諏訪実業高等学校 軽音楽部	9538	名古屋市	桂園国際高等学校 名古屋習センター 軽音楽同好会	7955	大阪市	好文学園女子高等学校 軽音楽部
5597	佐波郡	群馬県立玉村高等学校 軽音楽部	7272	諏訪市	長野県諏訪清陵高等学校 フォークソング部	7674	名古屋市	大同大学大同高等学校 軽音楽部	8052	大阪市	大阪市立西宮高等学校 軽音楽部
5599	佐波郡	群馬県立渋川工業高等学校 軽音楽部	7273	諏訪市	長野県諏訪清陵高等学校 現代音楽班	7682	名古屋市	中京大学附属中京高等学校 バンド研究部	7936	大阪市	関西大学立陽高等学校 フォークソング部
5602	沼田市	群馬県立沼田高等学校 軽音楽部	7275	須賀市	長野県須賀高等学校 FMC 同好会	7695	名古屋市	東海学園高等学校 軽音楽同好会	8034	大阪市	大阪府立高島高等学校 フォークソング部
5604	沼田市	群馬県立沼田女子高等学校 軽音楽部	7274	須賀市	長野県須賀成成高等学校 軽音楽部	7696	名古屋市	東海中学校・高等学校 軽音楽同好会	8057	大阪市	大阪成英女子高等学校 軽音楽部
5616	前橋市	群馬県立前橋高等学校 F&R 部	7241	千曲市	長野県原代高等学校 軽音楽部	7700	名古屋市	東邦高等学校 軽音楽部	4286	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5614	前橋市	群馬県立前橋清陵高等学校 定時制夜間部	7242	千曲市	長野県原代高等学校 フォークソング部	7703	名古屋市	明陽高等学校 フォークソング部	8120	大阪市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部
5627	前橋市	前橋育英高等学校 軽音楽部	7280	大田市	長野県大田岳陽高等学校 軽音楽部	7705	名古屋市	南山中学校・高等学校女子部 ギター部	7915	大阪市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部
5624	太田市	群馬県立新田高等学校 軽音楽部	7285	大田市	長野県中野立志願高等学校 軽音楽部	7744	名古屋市	名経経大附属高等学校 軽音楽部	7841	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5624	太田市	群馬県立太田高等学校 軽音楽部	7283	長野市	長野県中野立志願高等学校 フォーク部	7747	名古屋市	名経経大附属高等学校 軽音楽部	7985	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5626	太田市	群馬県立太田高等学校 軽音楽部	7254	長野市	長野県藤ヶ井高等学校 軽音楽部	7747	名古屋市	名経経大附属高等学校 軽音楽部	8091	大阪市	大阪府立立花高等学校 OS・II 部 軽音楽部
5628	藤原市	群馬県立藤岡中央高等学校 軽音楽部	7259	長野市	長野県藤岡中央高等学校 ミュージック部	7749	名古屋市	名古屋女子大学附属高等学校 フォークソング部	8062	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
5631	富岡市	群馬県立富岡高等学校 軽音楽部	7286	長野市	長野県長野市立高等学校 軽音楽部	7750	名古屋市	名古屋工業高等学校 ギター同好会	7993	大阪市	常習学園高等学校 軽音楽部
5634	邑楽郡	群馬県立邑楽高等学校 軽音楽部	7287	長野市	長野県長野市立高等学校 軽音楽部	7751	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	7920	大阪市	大阪府立立花高等学校 音楽部
			7288	長野市	長野県長野工業高等学校 軽音楽部	7752	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	8136	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6925	加茂市	加茂短期大学附属高等学校 軽音楽部	7289	長野市	長野県長野高等学校 フォークソング部	7753	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	8036	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6945	佐渡市	新潟県立佐渡高等学校 音楽部	7292	長野市	長野県長野西高等学校 軽音楽部	7754	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	8056	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6946	佐渡市	新潟県立佐渡総合高等学校 音楽部	7294	長野市	長野県長野南高等学校 軽音楽部	7756	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	7998	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6950	三島郡	新潟県立三条高等学校 軽音楽部	9506	長野市	長野工業専門学校 軽音楽部	7759	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	7913	大阪市	あべの増学高等学校 軽音楽部
6955	三島郡	新潟県立出雲崎高等学校 音楽部	7317	長野市	長野市立長野高等学校 軽音楽部	7760	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	8037	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6951	糸川市	新潟県立糸川高等学校 軽音楽部	7318	長野市	長野県長野高等学校 軽音楽部	7761	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	7918	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6952	糸川市	新潟県立糸川工業高等学校 軽音楽部	7319	長野市	長野県女子高等学校 軽音楽部	7761	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	7918	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6954	十日町市	新潟県立十日町高等学校 軽音楽部	7320	長野市	長野県女子高等学校 フォークソング部	7764	名古屋市	名古屋工業高等学校 軽音楽部	8080	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6959	上越市	新潟県立上越高等学校 軽音楽部	7296	長野市	長野県上野高等学校 軽音楽部	7764	名古屋市	愛知黎明高等学校 軽音楽部	8066	大阪市	大谷中学校・高等学校 フォークソング部
6939	上越市	関根学園高等学校 軽音楽部	7285	南佐久郡	長野県小島高等学校 軽音楽部	7774	伊賀市	三重県立伊賀高等学校 軽音楽部	4282	大阪市	松山学院高等学校 軽音楽部
6939	上越市	高田高等学校 軽音楽部	7300	山形市	長野県山形高等学校 軽音楽部	7788	伊勢市	三重県立山田山形高等学校 軽音楽部	8130	大阪市	明学院高等学校 軽音楽部
6960	上越市	上越高等学校 軽音楽部	7301	山形市	長野県山形 OIDE 長尾高等学校 軽音楽部	7792	伊勢市	三重県立山田山形高等学校 軽音楽部	7951	大阪市	建國高等学校 軽音楽部
6941	上越市	新潟県立高田南高等学校 軽音楽部	7302	山形市	長野県山形高等学校 軽音楽部	7797	桑名市	三重県立桑名高等学校 軽音楽部	4289	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6943	上越市	新潟県立高田北高等学校 軽音楽部	7304	山形市	長野県山形越前高等学校 軽音楽部	7798	桑名市	三重県立桑名高等学校 軽音楽部	7965	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6961	上越市	新潟県立上越総合技術専門学校 軽音楽部	7283	北安曇郡	長野県池田工業高等学校 軽音楽部	7800	三重郡	三重県立高野高等学校 軽音楽部	8078	大阪市	帝塚山学院高等学校 軽音楽部
6930	新潟市	新潟県立巻高等学校 ギター部	7298	北安曇郡	長野県白根高等学校 軽音楽部	7804	四日市市	三重県立四日市工業高等学校 軽音楽部	8140	大阪市	浪速高等学校 軽音楽部
6965	新潟市	新潟県立新潟工業高等学校 音楽部	7249	北佐久郡	長野県軽井沢高等学校 軽音楽部	7807	四日市市	三重県立四日市商業高等学校 軽音楽部	7992	大阪市	城南学園高等学校 軽音楽部
6974	新潟市	新潟県立新潟西高等学校 軽音楽部	7279	木曽郡	長野県軽井沢高等学校 軽音楽部	7841	四日市市	三重県立北星高等学校 バンド部	7962	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6977	新潟市	新潟県立新潟中央高等学校 ギター部	7013	木曽郡	長野県軽井沢高等学校 軽音楽部	7823	四日市市	大松学園高等学校 軽音楽部	8010	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
7024	新潟市	新潟県立津波高等学校 ギター部	7335	可児市	岐阜県津波高等学校 軽音楽部	9522	津市	三重県立津波高等学校 軽音楽部	8049	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6970	新潟市	新潟市立明鏡高等学校 軽音楽部	7327	岐阜市	ぎふ国際高等学校 軽音楽部	7826	津市	三重県立津波高等学校 軽音楽部	8090	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6973	新潟市	新潟市立女子高等学校 音楽部	7366	岐阜市	清美高等学校 フォークソング部	7827	津市	三重県立津波高等学校 軽音楽部	8119	大阪市	大阪府立立花高等学校 ジャズ・フォークソング部
7025	新潟市	北越高等学校 軽音楽部	7399	高山市	岐阜県立北高等学校 軽音楽部	7829	津市	三重県立津波高等学校 オリジナルソング部	4284	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6988	新発田市	新潟県立新発田南高等学校 ギター同好会	7395	土岐市	岐阜県立東濃フロンティア高等学校 軽音楽部	7831	津市	三重県立津波高等学校 ロッキン部	8051	大阪市	大阪府立立花高等学校 音楽部
6987	新発田市	新潟県立中央高等学校 軽音楽部	9510	本市	岐阜県立東濃フロンティア高等学校 軽音楽部	7834	津市	南山高等学校 軽音楽部	7922	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6938	村上市	新潟県立村上高等学校 軽音楽部	7416	伊豆市	静岡県立伊豆中央高等学校 軽音楽部	7833	彦根市	三重県立伊勢野高等学校 軽音楽部	4292	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
6998	村上市	新潟県立村上上ヶ丘高等学校 軽音楽部	7416	伊豆市	静岡県立伊豆中央高等学校 軽音楽部	7840	尾道市	三重県立信濃高等学校 軽音楽部	4273	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
7004	長岡市	新潟県立長岡高等学校 軽音楽部	7426	掛川市	静岡県立掛川工業高等学校 ギター部	7817	鈴鹿市	三重県立掛川高等学校 軽音楽部	9535	大阪市	関西情報専門学校 高校課程 軽音楽部
7006	長岡市	新潟県立長岡大学高等学校 軽音楽部	7462	川崎市	常葉学園川崎高等学校 音楽部	7819	鈴鹿市	三重県立石家高等学校 軽音楽部	8069	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
9505	長岡市	長岡工業専門学校 軽音楽部	7500	前橋市	群馬県立前橋高等学校 音楽部	7837	鈴鹿市	三重県立白子高等学校 軽音楽部	8084	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
7022	新潟市	新潟県立上越高等学校 軽音楽部	7438	前橋市	群馬県立前橋高等学校 軽音楽部	7837	鈴鹿市	三重県立白子高等学校 軽音楽部	9112	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
7017	柏崎市	新潟県立柏崎総合高等学校 フォークソング同好会	7438	前橋市	群馬県立前橋高等学校 軽音楽部	9522	津市	三重県立津波高等学校 軽音楽部	8078	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
7019	柏崎市	新潟県立柏崎総合高等学校 軽音楽部	7515	三島郡	静岡県立三島高等学校 軽音楽部	9522	津市	三重県立津波高等学校 軽音楽部	8085	大阪市	東住吉総合高等学校 ギター部
6962	妙高市	新潟県立新井高等学校 ニューミュージック部	7424	沼津市	加藤学園高等学校 フォークソング部	7851	愛知郡	滋賀県立愛知高等学校 軽音楽部	7949	大阪市	金剛高等学校 フォークソング部
7048	津市	富山県立新川みどり野高等学校 軽音楽部	9511	沼津市	沼津工業専門学校 軽音楽部	7858	近江町	滋賀県立八幡工業高等学校 軽音楽部	8043	大阪市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部
7039	高岡市	富山県立第一高等学校 軽音楽部	7456	沼津市	沼津中央高等学校 軽音楽部	7884	津市				

軽音学ぶセミナー

GarageBand 完全マスター講座



2022年12月10日（土）
名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校



期末試験が終わり、部活動が再開した12月上旬。愛知県内の高校軽音楽部を対象にした「軽音学ぶセミナー」を開催しました。普段はボーカルやギター、ベース、ドラムなどの楽器演奏のスキル向上をはじめ、様々なことを学び、交流を深める本セミナーですが、先月の東京での開催に続いて、今回はiOS/iPad向けのアプリケーション「GarageBand」に特化した講座を実施。「GarageBand 完全マスター講座」と題して、7校/約70名が参加しました。

当日は「第一部/インストール～各機能の説明（自分のiPhone/iPadを操作する）」「第二部/自習時間（各自で自習、不明な点は講師に質問する）」「第三部/成果発表（有志による演奏披露）」という3つのカリキュラムを用意。講師は名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校の三和先生に担当していただきました。

定刻となり、第一部からスタート。プロジェクターを使用しながら「KEYBOARD」「DRUMS」「STRINGS」「BASS」など、GarageBandに収録されている各楽器の紹介や各ボタンの役割をはじめ、「概要」「リズム」「上モノ」「ベース」「その他」という風に曲作りの工程を5つのステップに分けて解説。三和先生の解説を聞きながら、自分のiPhoneやiPadで実践したり、メモを取っている生徒の姿が見受けられました。

休憩時間を挟んで、第二部は自習時間です。イヤフォンやヘッドフォンを装着し、各自の端末で教わったことを実践。リズムパターンから構築してみたり、ギターやベースの「Autoplay」で、いくつかのパターンの中からピンとくるも

のを選択し、そこから広げていくなど、各自が作曲に取り組みました。

第三部は成果発表会です。挙手した生徒が自習時間で出来上がったプロジェクトを披露したり、三和先生が自習時間中に目をつけた生徒を指名するなど、これまでの出来栄をを発表。誰1人として似通った曲はなく、出来栄の高さに会場がざわつく場面もあるなど、それぞれの成果を披露しました。

定刻となり、講座は終了。参加した生徒からは「GarageBandの使い方を深く知ることができ、これまで以上に興味が湧いた」「もっと触ってみたいくなったので、どんどん使っていきたい」「何となく苦手意識を持っていたけれど、使い方を詳しく知ることができたので、自分でも触れそうだと感じた」「音楽を始めたのが高校生からなので、何もわからず、不安だったけれど、音を組み合わせるのがとても楽しく、音楽は奥が深いことが実感できた」「今まで曲を作ろうとしても、どうしたら良いのかわからなかったけれど、今回のセミナーで使い方を理解したので、オリジナル曲に取り組む意欲が湧いた」といった感想が聞かれ、盛会のうちに終了しました。

【参加校】愛知県立豊田西高等学校・愛知県立東海樟風高等学校・名古屋市立桜台高等学校・名古屋市立緑高等学校・名古屋市立名東高等学校・星城高等学校・愛知産業大学工業高等学校

協力：名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校



▲ GarageBandの操作方法を1つずつ丁寧に解説しました



▲作曲方法について、5つのステップに分けて工程を紹介



▲教わったことを自習時間で実践。曲作りに挑戦しました



▲参加した生徒が自習中に作成したフレーズを全員で試聴



▲代表者が出来栄を発表。三和先生が解説を行いました

軽音学ぶセミナー

GarageBand 完全マスター講座



2022年12月11日(日)
ビジュアルアーツ専門学校



試験期間が終わり、いよいよ部活動が再開した最初の日曜日。関西圏の高校軽音楽部を対象にした「軽音学ぶセミナー」を大阪府で開催しました。普段はボーカルやギター、ベース、ドラムなどの楽器演奏のスキル向上やアンサンブルが良くなるためのコツなどを学び、参加校同士の交流を深める本セミナーですが、今回はiOS/iPad向けのアプリケーション「GarageBand」に特化した講座を前日の名古屋での開催に続いて、大阪でも実施。「GarageBand 完全マスター講座」と題して、大阪府や京都府、兵庫県から8校/約50名が参加しました。

当日は「第一部/インストール～各機能の説明(自分のiPhone/iPadを操作する)」「第二部/自習時間(各自で自習、不明な点は講師に質問する)」「第三部/成果発表(有志による演奏披露)」という3つのカリキュラムで進行。講師はビジュアルアーツ専門学校/サウンドクリエイターコースの杉本先生に担当していただきました。

定刻となり、第一部からスタート。プロジェクターでiPhoneの画面を映しながら「KEYBOARD」「DRUMS」「STRINGS」「BASS」「GUITAR」など、GarageBandに収録されている各楽器の紹介や各ボタンの役割をはじめ、「Smart Drums」や「ビートシーケンサー」を駆使したリズムパターンの簡単な構築方法を解説。杉本先生の解説を聞きながら、自分のiPhoneやiPadで実践したり、メモを取っている生徒の姿が見受けられました。また、「AUDIO RECORDER」を使用したボーカルの録音方法

協力：ビジュアルアーツ専門学校

にも触れ、GarageBandを駆使したオリジナル曲作りのアイデアをいくつか学ぶことができました。

休憩時間を挟んで、第二部は自習時間です。それぞれのiPhoneやiPadで教わったことを実践。リズムパターンから構築してみたり、ギターやベースの「Autoplay」で、いくつかのパターンの中からピンとくるものを選択し、そこからアイデアを広げていくなど、各自が作曲に取り組みました。

第三部は、いよいよ成果発表会です。挙手した生徒が自習時間で出来上がったプロジェクトを披露したり、杉本先生が自習時間中に目をつけた生徒を指名するなど、6名がこれまでの出来栄を発表。誰1人として似通った曲はなく、出来栄の高さに会場が盛り上がる場面もあるなど、それぞれの成果を披露しました。

定刻となり、講座は終了。参加した生徒は「今まで曲作りに挑戦したことがなく、何もわからなかったけれど、少しだけやり方を理解し、興味を持つことができたので、とても勉強になった」「GarageBandの使い方がわかった上に他の参加者の音源も聴けたので、すごく参考になった」といった感想を口にしていました。

【参加校】大阪府立四條畷高等学校・大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校・阪南大学高等学校・京都府立嵯峨野高等学校・京都府立大江高等学校・大谷高等学校・兵庫県立兵庫高等学校・仁川学院高等学校



▲ GarageBandの画面を見ながら、基本の操作方法を説明



▲講義を聞きながら自分の端末を操作し、理解を深めます



▲教わったことを自習時間で実践。曲作りに挑戦しました



▲代表者が出来栄を発表。杉本先生が解説を行いました



▲応用編としてDAWソフト「Logic Pro」を紹介しました

令和4年度

第12回 愛知県高等学校軽音楽大会

令和4年度
第12回 愛知県高等学校軽音楽大会



2023年1月7日（土）名古屋文理大学文化フォーラム（中ホール）

新型コロナウイルス感染症の第8波が猛威を振るう中、万全の感染症対策を実施の上、愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部とのダブル主催という形で、今冬も県大会を開催。検温や定期的な換気をはじめ、マスクの着用やマイクカバーとしてウインドスクリーン（風防）を配布するなどの対策を行い、各校から選出された24校／24バンドが日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

定刻になり、主催者を代表して、愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部長であり、名古屋経済大学市邨高等学校の中村弘之先生が登場。「以前として、コロナ禍で様々な活動が制限されたり、陽性者が増え続ける中、何とか今冬も大会を開催することができました。コロナ禍は3年経った今も収まってはいませんが、いつまでも社会活動や学校生活を停止させたままではできません。私自身、文化や芸術が人間

にとって、どれだけなくてはならないものであるかを思い知らされました。さて、愛知県内の高等学校軽音楽部は今年度から高等学校文化連盟に専門部として加盟することになり、軽音楽部の活躍する場がさらに広がることになりました。昨年の夏には東京で開催された『第46回全国高等学校総合文化祭』の軽音楽部門大会に愛知県立旭野高等学校が愛知県代表として参加しました。これからも、より多くの人たちと軽音楽の魅力を共有し、学校における部活動としての意義をさらに深めることと思います。今日は、その軽音楽専門部が主催する初めての大会です。どのバンドも熱い想いをステージで発揮してくれると思いますので、皆さんで温かい拍手を送り、お互いにその努力を讃え、皆で良い大会にしたいと思います」と述べられました。

審査員が紹介されると、早速、1バンド目の演奏からスタート。演奏後には審査員から「リ

ズム感が良く、とても良いグルーブが出ていました。特にドラムとベースのリズム隊が良かったです」「せっかくギターが2人もいるので、もう少し2本の音色の違いを出せると良いと思います。はっきりと両者の違いを出した方がサウンドに奥行きが出て、さらに空間が広がったようなサウンドになります」「演奏力が高く、安心して聴くことができました。特に良かったのは、しっかりと楽曲を理解し、それらが体に染み込んでいる点です」といった講評やアドバイスが伝えられ、演奏者をはじめ、参加者も耳を傾けました。

出場バンドの演奏が終わり、審査協議の時間を挟んで、結果発表／閉会式へと移行。審査員やパートごとのコメンテーターから大会の総評と審査結果が伝えられ、今冬の愛知県大会は閉幕しました。



【大会結果】 グランプリ 名古屋経済大学市邨高等学校／桜乙女
準グランプリ 愛知県立半田高等学校／モノローグ
第3位 名古屋市立名東高等学校／上に1回動かす。
稲沢市長賞 愛知県立瑞陵高等学校／Lattice Y
奨励賞 名古屋国際高等学校／4U
奨励賞 愛知県立瀬戸工科高等学校／Gerbera
奨励賞 愛知県立旭野高等学校／METEOR STREAM

主催：愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部
特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会

特別協賛：名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

後援：愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・稲沢市・稲沢市教育委員会・一般財団法人稲沢市文化振興財団

参加：愛知県立旭丘高等学校・愛知県立旭野高等学校・愛知県立惟信高等学校・愛知県立岩倉総合高等学校・愛知県立昭和高等学校・愛知県立瑞陵高等学校・愛知県立瀬戸工科高等学校・愛知県立半田高等学校・愛知県立豊橋工科高等学校・愛知県立豊田西高等学校・愛知県立豊田北高等学校・愛知県立明和高等学校・愛知産業大学工業高等学校・修文学院高等学校・大同大学大同高等学校・中部大学春日丘高等学校・南山高等学校女子部・日本福祉大学付属高等学校・名古屋経済大学市邨高等学校・名古屋国際高等学校・名古屋市立工業高等学校・名古屋市立桜台高等学校・名古屋市立名東高等学校・名古屋市立緑高等学校



バンド名：桜乙女

学校名：名古屋経済大学市邨高等学校 軽音楽部

曲名：窓 (オリジナル曲)

大会映像
1月末公開!



部活動紹介 私たち市邨高校軽音楽部は3年生7人、2年生6人、1年生8人、中学生1人の計22人で活動しています。普段は十分すぎる機材に恵まれた練習環境の中、基礎基本や挨拶礼儀を大切に練習しています。スケール練習やリズムトレーニング、挨拶練習などの全体練習を毎日時間をかけて行い、コピー曲の練習も数多くこなし、最終的には心に響くオリジナル曲を作り上げることを一番の目標とし、日々練習を重ねています。

バンド紹介 この曲は、この部活でのたくさんの想いや気持ちを歌詞に込めて、メンバー全員でアレンジをしました。3年生最後のステージで、聴いた人の心に響くように想いを込めて全力で演奏し、会場に市邨サウンドをお届けします。



バンド名：モノローグ

学校名：愛知県立半田高等学校 フォークソング部

曲名：キャラクター／緑黄色社会

大会映像
1月末公開!



部活動紹介 半田高校フォークソング部は固定のバンドは組まず、曲ごとにメンバーが替わります。そのため、様々な編成やジャンルの曲の演奏を経験することができ、その上、先輩や同級生全員と演奏を通してつながりを持つことができるなど、良い点が数多くあります。また、OB / OGの先輩方ともつながりがあり、アドバイスをいただくなどして、支えられています。このように、フォークソング部は多くの人に支えられてきた部活動です。

バンド紹介 モノローグは「知られることの無い内なる独白」という意味を込めました。本大会のために結成したバンドですが、個性豊かで、元気で、仲良しです！私たちの代は今回の大会が最後です。会場が楽しめる演奏をお届けします。



バンド名：上に1回動かす。

学校名：名古屋市立名東高等学校 軽音楽部

曲名：少年が持っていたのが… (オリジナル曲)

大会映像
1月末公開!



部活動紹介 「目的は人間として成長すること。音楽はそのための手段である。」というのが、名東高校軽音楽部のモットーです。日頃から部活では、音楽がカッコよくあるためには、あらゆることに美意識と美学を持たなければならない、と言われています。荷物や靴を整理して並べることや挨拶にこだわりをもつこと、規律のあるチームなど、一つ一つの日常で、何がカッコいいのかを考えながら活動しています。そうして磨いた感性をステージで出し切ります。

バンド紹介 「音楽は、メッセージである」ということを意識して練習してきました。楽曲が持っている命を聴いている人に届けられるかどうか、という真剣勝負だと思って挑みます。

令和4年度

第7回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会

令和4年度
第7回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会



2023年1月8日（日）名古屋文理大学文化フォーラム（中ホール）

新型コロナウイルス感染症への対策を行いつつ、今冬も高等学校軽音楽コンテスト中部大会を愛知県稲沢市にある名古屋文理大学文化フォーラムの中ホールで開催しました。定刻となり、主催者を代表して当協会の三谷理事長が開会式に登壇。「東海地方や中部地方、北陸地方の高校軽音楽部の目標になるようなコンテストを作ろう！」ということで始めた高等学校軽音楽コンテスト中部大会も、今回で第7回目の開催を迎えることができました。顧問の先生方や関係者の方々のご尽力をいただき、開催できることに感謝を申し上げます。今日はコンテストですので、日頃の練習の成果を存分に発揮する日です。ぜひ頑張りたいと思います。各地の高校生バンドの演奏を聴くことができる場ですので、『楽しかった!』という感想だけでなく、いろいろな学校のバンドから学び、たくさんのお話を吸収してもらいたいと思います。コンテストですので、順位はついてしまいますが、結

果に一喜一憂せず、これからも頑張ってください」と述べました。

審査員やコメンテーターが紹介されると、早速、1バンド目の山梨県立甲府第一高等学校の「3時15分」の演奏からスタート。演奏後は審査員から「とても素晴らしい演奏で、練習を重ねてきた様子が伝わってきました」という講評やオリジナル曲を演奏したバンドには「それぞれのパートが目立つ部分が用意されており、アレンジも秀逸でした。欲を言うと、1曲を通して、ずっと全力投球という感じなので、強弱を付けるようにしてみてください。歌詞を読むと、主人公の気持ちが揺れたり、決意をするなど、そんな心情も演奏で再現できると良いと思います」といったアドバイスが送られました。

厳正な審査のもと、昨夏に続いて、今冬も愛知県立瑞陵高等学校の「Lattice Y」がグランプリを受賞。審査員長を務めた専門学校名古屋ビジュアルアーツ/ミュージシャン学科主任の大

野先生は総評で「出場バンドの総合的なレベルが上がっており、今日の大会に向けて、皆さんが必死に練習してきた様子や想いは、どのバンドも同じでした。特に静岡県をはじめ、地方から出場している学校のレベルが上がっているのが嬉しく思います。ただ、あえて厳しいことを言うと、どのバンドも『何か1つが足りない…』という印象がありました。例えば、演奏技術は高いけれど、全員でまとまっていく!というアンサンブルの面が足りなかったり、オリジナル曲の完成度は高いけれど、音色へのこだわりが感じられなかったり、演奏は文句なしだけれど、観客を魅了するという『パフォーマンス』がもう一歩だったり…という点です。今日は、いろいろなバンドの演奏を聴いたと思うので、自分たちのことを激励しつつ、他校の良いところを取り入れて、明日からの活動に励んでください」と述べ、今冬の大会を締めくくりました。



【大会結果】	グランプリ	愛知県立瑞陵高等学校 / Lattice Y
	準グランプリ	浜松学芸高等学校 / Someiro Days
	第3位	名古屋国際中学校・高等学校 / 確定申告
	稲沢市長賞	名古屋市立名東高等学校 / 上に1回動かす。
	奨励賞	名古屋経済大学市邨高等学校 / 桜乙女
	奨励賞	加藤学園高等学校 / SLUMBER
	奨励賞	愛知県立旭丘高等学校 / Fractal Star

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

特別協賛：専門学校名古屋ビジュアルアーツ

後援：文化庁・愛知県・愛知県高等学校文化連盟・愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会・静岡県教育委員会・三重県教育委員会・山梨県教育委員会・石川県教育委員会・名古屋市教育委員会・稲沢市・稲沢市教育委員会・一般財団法人稲沢市文化振興財団

参加：愛知県立旭丘高等学校・愛知県立旭野高等学校・愛知県立瑞陵高等学校・名古屋経済大学市邨高等学校・名古屋国際中学校・高等学校・名古屋市立名東高等学校・名古屋市立緑高等学校・静岡県立沼津東高等学校・浜松学芸高等学校・浜松修学舎高等学校・加藤学園高等学校・岐阜県立斐太高等学校・三重県立津西高等学校・石川県立羽咋高等学校・山梨県立甲府第一高等学校・山梨県立甲府南高等学校



バンド名：Lattice Y (ラティスワイ)
 学校名：愛知県立瑞陵高等学校 軽音楽部
 曲名：ミックスナッツ／Official 髭男dism



部活動紹介 瑞陵高校軽音楽部はLattice Y、餃子定食といった2年生のバンドがいただいた大会での賞はもちろん、その他の活動についても、シャフバンは以前とはまた違うバンドが活動を始め、ライブの規模も多様になっていき、さらには、瑞陵生が主体となって動かしたライブもいくつかあるなど、活動はますます拡大しております。また、1年生も少しずつ活動の機会が増えてきており、部活は全体的に良い方向へ向かっていると云えるでしょう。

バンド紹介 本大会では前回大会よりもさらに挑戦的な選曲で挑みます。ですが、前回大会以降、メンバー全員いろんなところで貴重で、時に面白いのある音楽の経験をしたので、それをバネにして前回大会のハードルを飛び越えたいです。



バンド名：Someiro Days (ソメイロデイズ)
 学校名：浜松学芸高等学校 ポピュラー音楽部
 曲名：Don't say "lazy"／放課後ティータイム



部活動紹介 2002年創部。日頃は静岡県の大会、市民音楽祭、所属校の文化祭やオープンスクール、学内ライブなどを中心に活動しています。2022年11月現在の部員は高1、高2で34名。大会などの発表の機会を目標として、バンド練習やオリジナル曲制作に励んでいます。大切にしていること…他者に対して敬意をもつこと。

バンド紹介 Someiro Daysです！真面目にやりつつ遊び心も忘れずに活動しています。今回やる曲はテンポが速くて、みんなが楽しめるような曲なので、楽しいと思いながら演奏します。入賞を目指して頑張ります！よろしくお願いします。



バンド名：確定申告
 学校名：名古屋国際中学校・高等学校 軽音楽部
 曲名：ヴィーナス／女王蜂



部活動紹介 名古屋国際中学校・高等学校は中高一貫校であるという特色を生かして学年も性別もバラバラのメンバーでバンドを組んでいます。普段関わる機会の少ない学年や男女の壁を越えて、アドバイスをし合ったり、助け合ったりしています。6学年在籍しているからこそ、様々な感性と考え方に感化されながら高め合うことができ、先輩から後輩へ、後輩から先輩へ演奏技術だけでなく、部活動を通して多くのことを学び、吸収し、力にしています！

バンド紹介 皆さんこんにちは！確定申告です！私たちのバンドは中学生から高校生まで、皆で一致団結して取り組んでいます。今までたくさん重ねてきたものを皆さんに感じて欲しいです。ギターソロに注目して聴いてください。

いつでもどこでもできる基礎力アップ！

パート別

フィジカル・トレーニング



皆さんは、歌や楽器の演奏がもっとうまくなりたいと日々練習に明け暮れていることと思いますが、歌や楽器の上達は言わば勉強と同じです。闇雲に練習を重ねるよりも、根本から見直して基礎力をつけることが大切です。個人スキルのアップを目指すには、「体の使い方」を見直す必要があります。楽器の演奏や歌うこともスポーツと同様、体を使って行うことですから、当然フィジカル面の鍛錬は必要です。

実のところ、歌や楽器の基礎練習には、大きな声で歌ったり楽器を使う必要はありません。歌ったり楽器を演奏するのは「体」です。声を出したり楽器を扱うにはどんな筋力が必要で、どんな使い方をするのか…を考えた「フィジカル・トレーニング」で確実に基礎力はアップします。

もちろん、すぐに結果がついてくるものではありませんが、毎日少しずつやることで必ず力になっていきます。各パートごとに、いつでもどこでもできる身体能力アップの自主トレーニング方法を紹介しますので、技術的な個人スキル上達のため、あるいは練習・本番前の準備運動や演奏後の整理運動として役立ててください！

いつでもどこでもできる
個人スキルの基礎力アップ

ボーカリスト編

普段、実際に歌う練習をすることは難しいと思います。かといって、カラオケボックスや練習スタジオに行くのはお金もかかり面倒です。しかし、そんなボーカリストにも自宅や公園などでできる自主トレがたくさんあります。もちろん、それらは普段の部活動前やライブ本番前にも有効なものばかりです。歌う前の準備運動や喉のウォーミング・アップにぜひ取り入れてください！

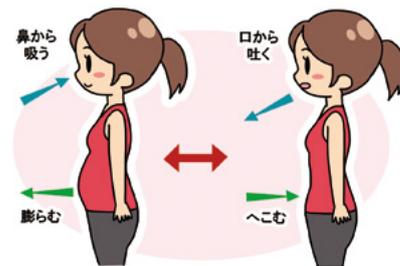
腹式呼吸トレーニング

ボーカリストが身につけるべき体の使い方の中で、最も基礎となるのが「腹式呼吸」です。腹式呼吸でしっかりと発声ができるようになるだけで、ビックリするほど音域が広がります。また、声にパンチが出たり音程の安定感も良くなって、歌に表情と存在感が生まれます。

日常生活の中では、空気を吸った時にお腹が凹み、吐いた時にお腹が膨らみます。これを専門的には「胸式呼吸」といいます。「腹式呼吸」

はその逆で、空気を吸った時にお腹が膨らんで、吐いた時にお腹が凹む呼吸法です。まずはお腹に手を当ててやってみましょう。

「そんな難しいことできないよ!」と思うかもしれませんが、眠っている時やあくびをする時は誰でも必ず腹式呼吸をしています。簡単にマスターできるので、意識的にできるように練習していきましょう。



▲感覚を掴めるまでは寝ながらでもOK

ブレスのトレーニング

まず、肩が動かないように固定して、10秒くらいかけてゆっくり深く空気を吸い込みます。そして、吸った時間と同じ時間をかけて空気をゆっくりと吐き出します。リラックスして肺への空気の出し入れに集中して何度も行いましょう。慣れてきたら、次にこの「吸って吐く」という運動の時間を、10秒→20秒→40秒と長くしていきます。一般的な肺活量の人であれば、男女問わず1分くらいまでは伸ばせるようになると思います。トレーニングする際は、「呼吸をするために必要な筋肉」がどこなのかを感じてください。日常の呼吸では使わない腹筋、背筋といった体中の筋肉が必要であることがよくわかると思います。

ここからが実践的なトレーニングです。1分かけて吸い込んだ空気の量と同じ量をイメージして、2秒程度で瞬間的に吸ってください。吐く時間は長くても構いませんが、1分かけて吐いた時の量をしっかりとイメージしましょう。さらに、吸う時間を2秒→1秒と段々と短くしていきます。この運動がちゃんとできるようになるためには、空気を吸って吐く時に喉をしっかりと開くことが大切です。このトレーニングを30分ほど行くと汗だくになって、体中の様々な筋肉が疲労して痛くなります。その痛くなった部分がブレスに必要な筋肉です。従って、その部分を集中的に鍛えれば、歌うために必要な筋肉を強化できるということです。

すると、肺は強力なポンプへと変身し、安定したブレスができるようになります。

歌詞カードに、ブレスの位置を細かく書き込み、それを見ながら歌うトレーニングをすると、とても効果的です。



▲姿勢が悪くならないように背筋を伸ばそう

リップロール・トレーニング

「リップロール」というトレーニングを行うと、唇や顔の筋肉にリラックス効果があります。腹式呼吸で口から息を吐き、その際に歯を噛み合わせて、口を完全に閉じた状態で、喉で「ウー」と発声し、唇を震わせて「ブルルルル」と発声します。これがリップロールです。「ブ、ブッ、ブー」という風に息と発声が乱れる場合は、100%腹式呼吸ができていない状態ということになります。5秒から10秒以上は「ブルルルル」と自然に

継続できるようになるまで練習してください。慣れてきたら、音階をつけてみましょう。

リップロールは、ファルセット（裏声）で行うと、声帯がスムーズな変化に対応できるようになり、地声とファルセットの境界線を滑らかにつなげられるようになります。もちろん、歌う前のウォーミング・アップとしても有効で、リップロールでしっかりと喉を温めておいてあげると、声の持久力もよりアップします。



▲慣れるまでは口の周りを軽く押さえながらやってみよう

いつでもどこでもできる
個人スキルの基礎力アップ

ギタリスト/ベーシスト編

本来は、ギターやベースを弾く筋力を衰えさせないことが最も効果的なトレーニングなので、普段から毎日少なくとも10分は弾いていることが一番なのですが、楽器がなくてもできる効果的なトレーニングもたくさんあります。ギターやベースを弾くためにはどんな筋力や神経が必要なのか、自分の弱点はどこなのか…などを知り、根本からのスキル・アップを目指しましょう！

左手（弦を押さえる方）のトレーニング

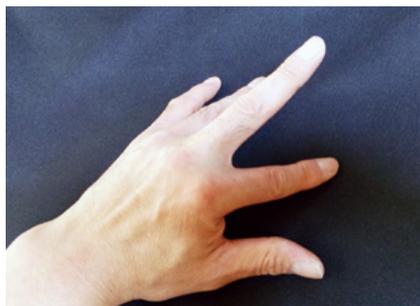
幼少期からピアノを習っていたという人などを除けば、手の指をそれぞれ独立して動かすことはなかなか難しいと思います。普通はつられて他の指が動いてしまうことがほとんどでしょう。これは、それぞれの指に指令を与えている神経細胞の発達に関連しています。ギターやベースを弾く時には、それぞれの指が独立して動かせるようになることが上達の近道です。運動神経を鍛えるための「指のトレーニング」を行きましょう。

それぞれのトレーニングは、初めはゆっくりから地道に行うことが大切です。片手ずつ動きを確認して、最終的にはメトロノームを使って店舗に合わせて…など、自分に合わせて様々な応用してみてください。また、これらのトレーニングは、ギターやベースを弾く前の準備運動としても有効なので、普段の練習やライブ前などにも行ってください。

順番に机を叩く

これは、左右両方の指に効果があるトレーニングです。左手のフィンガリングや右手のアルペジオなどの奏法を極めたい人に大きな効果があります。

まず、机の上に5本の指を立てます。その際、手の平が机と水平になるくらいに軽く指を曲げてください。次に指を1本ずつ、例えば人差し指→中指→薬指→小指の順に上下に



▲指で机を軽く叩く感じでバタバタ…

動かします。他の指は机につけたままにして、それぞれの指先で机の上を軽く叩くイメージです。ただバタつかせるのではなく、1つひとつ確実に動かしてください。

スムーズにできるようになってきたら、動かす順番を逆にしてみたり、1本ではなく2本の指を組み合わせると同時に動かしてみたり…と、自分でバリエーションを考えてみてください。動きを複雑にすれば効果も上がります。机の上でなくても大丈夫なので、慣れてきたらスピード・アップしてみてください。

両手同時に指を折る

このトレーニングは両手同時に行います。まず、両手をパーにして、人差し指→中指→薬指→小指の順に、1本と残りの3本の指を交互に曲げ伸ばしを繰り返します。これを順



▲曲げる指と伸ばす指をできる限り分ける



▲1本指よりも難しいので、できる範囲で挑戦しよう

番に10回から20回ほど行います。

次に、中指&薬指と人差し指&小指→人差し指&中指と薬指&小指→人差し指&薬指と中指&小指…というように、2本の指をセットにして交互に曲げ伸ばしを行ってください。初めはなかなかうまくできないと思いますが、ゆっくりと地道に続けましょう。

指回し

左右の指の先を合わせて、それぞれの指をグルグルと回転させます。これは、脳の活性化にも効果があるといわれていて、特に普段独立して細かい動きをしないけどギターやベースを弾く時はよく使う、薬指や小指の動きをスムーズにするためには最適な運動です。

まずは、人差し指→中指→薬指→小指の順に、時計回りと反時計回りを最初は各20回くらいを目安に回してみてください。スムーズに素早く回せるようになったら、回数を増やしていきましょう。回していない他の指が離れないようにゆっくりから始めて、徐々にスピードを上げていってください。



▲回す指以外はしっかりと合わせておく

グリップ力をつける

ギターやベースの弦は力で押さえつけるものではありませんが、ある程度指の筋力がないと

弾いていてすぐに疲れてしまいます。また、音がしっかりと鳴らなかつたり安定しなくなってしまう。

トレーニング方法は、筆箱や長財布などを使って、ネックを握っているような指の形を作ります。そして、人差し指だけ、中指だけ...など、指を1本ずつ上げ下げします。その際、他の指は筆箱から離さずに握り続けるようにしてください。それぞれの指が独立して動くようになってきたら、指を順番に動かします。人差し指→中指→薬指→小指と動かし、そのまま小指→薬

指→中指→人差し指と戻ってきたり、人差し指→薬指→中指→小指と動かし、そのまま小指→中指→薬指→人差し指と戻したりします。薬指と小指は普段の生活ではあまり使わないので、交互に動かすなど重点的に鍛えましょう。

市販の「フィンガー・グリップ」というアイテムには、負荷を調整できるものもあります。最大筋力を増すための「短時間にフルパワーで訓練する方法」と、筋力の持続時間を増加させるための「適度な負荷を一定時間与え続ける訓練」の、2パターンを行うことが効果的です。



▲指の筋肉を鍛えるアイテム、フィンガー・グリップ

右手（弦を弾く方）のトレーニング

ギターやベース演奏のミスは、意外と弦を弾く方に原因があったりします。もちろん、左右の手のタイミングを合わせることが最も大事ですが、その前に「ピッキング（フィンガリング）」を正確にしておくことがスムーズです。

オルタネイト・ピッキングのトレーニング

ピッキングする際に重要となるのが、アップとダウンを定期的に繰り返す「オルタネイト・ピッキング」です。単に上下運動させるだけではなく、繊細なコントロールができるようになると、テンポやリズムが安定するようになり、求める音色を出すこともできるようになります。

まず、ピックを持っているつもりで指の形を作って、ズボンの横の縫い目を弦と見立てたり、空中でエア・ピッキングしてみましょう。音源やメトロノームを聴きながら、決まったリズム・パターンに従って右手をギターやベースを弾いているように動かします。必ず、足でリズムを取りながら行うようにしてください。アクセントを入れる場合は、指先に軽くキュッと力を入れます。実は、これがストロークをしている時のアクセントを入れる感覚で



▲実際にピックを握っているようなイメージで

す。腕に力を入れてしまうとグローブが乱れてしまうので、このくらいで十分なのです。

ポイントは、オルタネイトをしっかりと守り、アップの時のピッキングが弱くならないように注意することです。手首の振りに合わせて、ゆっくりと1から8までを数え、奇数はダウン、偶数はアップで行います。要領がわかってきたら、アップ/ダウンを逆にしたりとアレンジしてみましょう。

ベースの指弾きのトレーニング

指弾きは、ベースの奏法として最も一般的な弾き方です。トレーニング方法としては、机のような物の端に親指を置き、人差し指と中指を使って机のヘリを指で弾（はじ）きます。指弾きの場合、基本的に「アポヤンド奏法」という、弾いた弦よりも低い弦に指を当てて止める奏法をするので、ヘリを弾いた指を親指に当てるようにしてください。

指弾きの練習には、「利き指」を把握してアクセントをつけるトレーニングも有効です。2フィンガーで交互に弾いた際、最初に使った指が基本的に自分の利き指です。例えば、中指が利き指の人の場合は、中指→人差し指と交互に弾いて、中指の方だけに強くアクセン



▲机のヘリを弦に見立てて指で弾く

トをつけます。次に人差し指にアクセントをつけて、中指は少し弱く弾きます。このようにアクセントの位置を変えたり、パターンをいろいろと変えて練習していきましょう。

スラップのトレーニング

「スラップ」とは、その名の通り弦をスラップ（はたく）する奏法です。派手さもあり表現の幅も広がるので、ぜひマスターしてください。

まず、右手で親指を立てて「サムピング」の形を作り、机の角などを叩きます。親指を当てる場所は、画像の丸印あたりを意識して常に同じ場所に当てましょう。力を抜き、手首の回転を使って扇子をおおぐイメージで行うと良いでしょう。

スラップは「プル」の練習も必要です。机の角の上部分にサムピングをして手首を返す時に、机の裏側の角を人差し指で軽く引っ張って擦るような感覚で行います。この時、手の位置を動かさないようにして、その場で手首を回転させることがポイントです。プルとサムピングは連動させて行うものなので、この動きが癖になるまで練習しましょう。



▲サムピングの形。丸印の部分を意識して叩く

手首と指のストレッチ

手首と指のストレッチは、日頃から行うように心がけましょう。

まず、姿勢を良くして背筋を伸ばします。立って行う方が理想的ですが、座っていても大丈夫です。リラックスした状態で片方の腕を胸の高さに上げ、手の平を上に向けます。そして、指先を反対の手で持って15秒ほど手前に引きます。手首の筋が伸びていることを意識しながら行いましょう。

次に、手の甲を上に向けて、同じように指を反対の手で持って手前に引きます。これを左右両方の手で行います。手首はギターやペー

スを弾く時に負担がかりやすい部位なので、念入りに行いましょう。しかし、強く引きすぎると筋を痛めてしまう可能性があるため注意してください。これらを指1本ずつで行うと、指のストレッチにもなります。

また、腕をリラックスした状態で下に降ろし、手首を上下左右にブラブラさせるのも効果的です。足首も一緒にやるとさらに良いでしょう。他に、ラジオ体操も体がリラックスして全身をほぐすことができます。ラジオ体操は楽曲に合わせて行うので、リズムと体幹のトレーニングにもなりオススメです。



▲指先を持ち、15秒ほど手首を伸ばす

リズム感を養うことも「フィジカル・トレーニング」のうち！

歌や演奏には、リズムが伴っていないといけません。リズム感こそ命です。リズム感を良くするためには、まず「リズム」というものの自体を意識することが大切です。そこからすべてがスタートするといっても良いでしょう。リズムに乗る楽しさがわかってくると、段々と歌や楽器演奏も変わってきます。

トレーニングの方法は簡単です。普段好きな音楽を聴いている際に「何となく」ではなく、必ず体のどこかでリズムを取りながら聴く習慣をつけることです。そして、音楽が流れてきたら自然にリズムを取ってしまうような体を目指しましょう。テンポ♩ = 100 ~ 120 くらいの好きな楽曲を聴きながら、そのテンポで歩いてみてください。それだけでも十分に効果があります。まずはリズムと仲良くしましょう。

リズムを取る感覚として最も必要なのが、

「1、2、3、4」というビートを感じることで、初めのうちは頭の中で数えるだけでも構いませんが、慣れてきたらそのビートの裏拍、足を上げるタイミングを意識して、「(and) 1 and 2 and 3 and 4 and...」と、裏拍の「and」をしっかりと感じるようにします。裏拍で足を上げて表拍で下ろす…という一連の動作に、裏拍から表拍へ流れていく音符の長さを感じられるようになれば、腰でリズムを感じられるようになっていきます。

また、ドラムのスネアの位置を意識することもポイントです。通常のドラム・パターンだと、2拍目と4拍目にスネアがきます。4分音符の1、2、3、4を体で感じながら、スネアの位置で手拍子をしてみましょう。これは、すべてのエクササイズにいえることでもあります。自分がしている動作をしっかりと自らコントロールできている状態で行うこ

とが大切です。「なんとなくできている」という感覚で行っているうちは効果が出ません。

4つ打ちフレーズのようにすべての拍にスネアがくる場合は4分音符を意識して力強くリズムを取ったり、スネアがない場合は手拍子をせずにリズムを取ったり…と、常にビートを感じながらスネアの位置にアクセントをつけるような気持ちで、リズムに乗る練習をしていきましょう。特に、歌うことや楽器を演奏することとリズムを感じることを「別なもの」にならないように心がけてください。

最初はなかなかうまくいかないと思いますが、そこでダメだと思わずに、少しずつ地道に続けていきましょう。体が覚えてくれば、実際に歌ったり楽器を演奏する時、バンド練習の時でも、リズムを感じながら行うことが徐々にスムーズになってくると思います。



▲ドラマーの叩くスネアを意識してリズムを取る



▲いつでも合奏をしているつもりでリズムを感じる

個人練習の方法や場所の確保は全ドラマーの悩みの種です。しかし、ドラム上達のための基礎練習にドラム・セットは必要ありません。スティックでさえ、ある程度の段階までではなくても大丈夫です。スティックを持ったりペダルを踏む前に、ドラムで使う筋肉を鍛え、体の使い方を見つめ直せば、いざスティックを握ってドラム・セットに座った時、自分の体の状態の変化に気づくでしょう！

ドラムで使う筋肉「ドラム筋」

人は職業や長く続けて行っているものによって体型が変わります。サッカー選手は胴長短足（失礼！）でお尻の大きな人が多く、競輪選手は太ももが女性のウエストやヒップより太い人がたくさんいます。小さい頃からギターを弾いている人の中には、左手の指が右手よりも長いという人もいます。それぞれ鍛えられていく筋肉が異なり、続けている運動に合わせて

体の成長が変わっていくというわけです。

ということは、ドラムを叩いている人だけが発達していく筋肉もあるはず。これを仮に「ドラム筋」と呼ぶとします。逆説的に考えると、本来ドラムを叩く過程で発達していくドラム筋を、あらかじめ鍛えてあげれば、ドラムが上手に叩けるようになるということです。ドラム筋は、腕立て伏せやウェイト・トレーニング

といった普通の筋トレでは身につきませんが、日常生活の中で鍛えることができます。「練習時間が少ないけど、うまくなりたいたい」という人ほど、普段から取り組んでみてください。

なお、マッチョなドラマーになろうということではないので、女性ドラマーも誤解せずに安心して取り組んでください。

フィンガリングを鍛える

ドラム初心者の多くは、スティックを鷲掴みにしていることが多いように思います。人間の体は、手をギュッと握ると腕全部に力が入ってしまうようにできているので、鷲掴みで演奏しているとコントロールが悪くなったり、速いフレーズに対応できなくなったりしてしまいます。さらに、音がつまって良い音がしなくなる、乳酸が溜まって疲れやすくなるなど、まるで良いことはありません。

ギュッと握ってしまうのは、スティックがスッポ抜けてしまいそうになるから…という理由もよくわかります。しかし、それは指が使えていない、もしくは指を動かせていないという証拠です。全身をリラックスさせて、しなや

かなスティッキングを行うためには、親指と人差し指を支点にしてスティックを握り、スティックの軌道に合わせて残りの3本の指を開けるようになることが目標です。

トレーニング方法は、まず、手をスティックを握る形にします（写真A）。そして、親指と人差し指はそのままの状態、中指と薬指と小指を開きます（写真B）。それを思いっきり速く閉じたり開いたりしてみてください。第3関節から大きく開閉することがポイントです。きっと、ほんの数秒で腕が痛くなってくると思います。その痛いところが、指をパタパタさせる筋肉です。鍛えればスティッキングが見違えるほどスムーズになります。これは、テレビを見

たり歩いている時など、手を使っていない時はいつでも行えるトレーニングです。お風呂で湯船に浸かりながら行えば、水の負荷をかけることもできます。かなりキツイので、30秒ずつなどと時間を決めて、左右交互に行うと良いでしょう。指1本1本を動かしてみて、左右で比べてみてください。思うように動かない方は、重点的に普段からパタパタしていきましょう。

指がスティックの軌道に合わせて動く感覚は、スティックの先端を持って、腕を下にしてパタパタしてみるとよくわかります（写真C）。これを体の前や上を向けてもできるようになれば、かなり指が使えるようになった証拠です。



▲写真A 支点を作ってスティックを握る形にする



▲写真B 支点以外の3本の指をパタパタさせる



▲写真C スティックと指が離れない感覚がわかる

手首を鍛える

基本的なドラミングで重要なのは「手首」です。ドラムを叩く時は、手首を柔らかくして負担をかけないようにしないと、腱鞘炎になってしまう危険性もあるので注意してください。

手首を甲側に反らせるための筋肉を鍛えて、手首の動きをスムーズにしましょう。方法は簡単です。机から手首から先を出して、反対の手で負荷をかけます。押さえながら抵

抗するように軽く力を入れるだけでも十分です。また、膝の上などに手を置いて、手首だけ動かして膝を叩くように上げ下げしたり、500mlのペットボトルをダンベル代わりにして振っても効果的なトレーニングになります。

しかし、手首は複雑な構造をしていて傷めやすい部分でもあります。無理をしないで、ストレッチやマッサージを欠かさずに行いましょう。



▲手首から先を机から出して、反対の手で負荷をかける

ふくらはぎを鍛える

バス・ドラムのパワーの源は「ふくらはぎ」です。「バス・ドラムの音が小さい」とよく言われる人は特に、ふくらはぎを鍛えましょう。

トレーニングの最も簡単な方法は「つま先立ち」です。普段歩く時にかかとをつけないで歩くだけでも、ふくらはぎを鍛えられます。あるいは壁に向かって立ち、支え代わりに両手を壁につけて、かかとを上げ下げする運動を繰り返してもOKです。ポイントは足を下

ろした時にかかとを地面につけないことです。これを何度も姿勢を保ちながら行いましょう。

自宅や外出先で階段を見つけたら、つま先立ちで「踏み台昇降」をしましょう。適度なテンポの楽曲を思い浮かべたりして、リズムカルに行くと良いでしょう。1曲分、およそ5分くらい続けたいところですが、かなり疲れるので、終わったらマッサージとストレッチを忘れないようにしてください。



▲つま先立ちで歩くと、ふくらはぎが鍛えられる

足首を鍛える

思い通りにペダルを踏んで、バス・ドラムのプレイを安定させるためには、「足首」を鍛えることが先決です。足首は日常生活ではあまり複雑な動きを要求されないのですが、まずは自分の意志で繊細に動かせるように、足首周りの筋肉を鍛えましょう。

バス・ドラムのコントロールを高めるには、足首を反らせるためのスネの筋肉を鍛える必要があります。これは、椅子に座ってかかとを地面につけたままバス・ドラムを踏むようにするだけで良いトレーニングになります。好きな曲に合わせてバス・ドラムのパター

ンを踏んでみましょう。重要なのは足の指に力を入れず、指の付け根あたりで踏むことと、踏んだ後につま先立ちになるようにかかとを少し浮かせるぐらいの力加減で行うことです。左足も行っておくと、ハイハット・ワークに役立ちます。

時間があれば、この練習を足の指だけで行ってみてください。親指でペダルを踏むイメージです。連続してパタパタと上下させるだけでも構いません。これは靴を履いていてもできるので、どこでも行えるトレーニングです。



▲足首だけでバス・ドラムを踏むイメージ

全身のストレッチ

ストレッチを行うことで、体の動きはまったく変わります。上半身、下半身ともにゆっくりと様々な筋(すじ)を伸ばすようにストレッチを行いましょう。入浴後など、普段から行うことによって体が柔らかくなり、力まらずに無理なくプレイすることができるようになります。

もちろん叩いた後の整理運動も大切です。興奮状態にある呼吸や血液循環、神経などを早く鎮静して、筋肉の疲労を回復することができます。ぜひ軽音楽部でも効果的なストレッ

チを練習メニューに取り入れて欲しいと思います。



▲スティックを使っての腕のストレッチやアキレス腱を伸ばすなどをして、全身をほぐそう

ます。筋トレ後のマッサージも忘れずに！



いつでもどこでもできる
個人スキルの基礎力アップ

キーボードリスト編

ピアノ経験者であれば、様々な基礎練習を思い出すかもしれませんが、軽音楽部に入部してからキーボードを始めたり、自分の機材を持っていない場合は困っている人も多いでしょう。今回は、楽器がなくてもできるトレーニングをいくつか紹介します。なお、このページでは動かす指をわかりやすくするために、親指を1、人差し指を2、中指を3、薬指を4、小指を5、と数字で表します。

指を独立して動かす練習

まずは、右手の5本の指先すべてを立てるように机の面につけ、親指から1本ずつ順番に机を4打叩いていきます。指順の数字は、1111→2222→3333→4444→5555になります。平らな場所がない場合は、太ももの上でも構いません。

この時、指先だけで行おうとはせずに、肩から腕全体の重さを指に集中させる意識で行いましょう。また、第1関節が凹まないように意識することも大切です。トレーニングする時のテンポは、無理なく少し遅く感じるくらいが良いでしょう。小指まで行ったら、また親指まで同じ要領で戻します。机を叩いていない指を浮かさず、しっかりと机面につけて、隣の指の動きにつられてしまわないように注意してください。

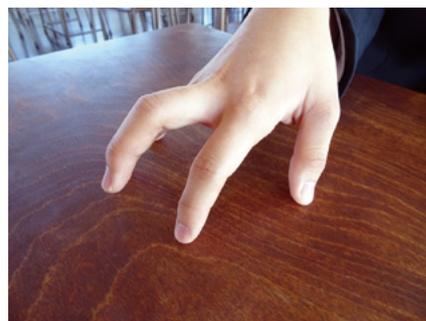
これを、左手も同様に親指から順に行います。薬指や小指など、思うように動かなかったり、音が小さくなってしまったり、正確なテンポで叩け

ない指があれば、その指だけ集中して動かしましょう。

次は、鍵盤の上でフレーズを弾くつもりで動かしていきます。まず、並んでいる3本の指で123123…、234234…、345345…と続けてフレーズを作ります。右手も左手も指の動きの順番は同じです。必ず体から離れていくイメージを持ちながら、メトロノームを使って正確なテンポで行いましょう。

スムーズに動くようになってきたら、自由に3本の指で組み合わせを考えてみましょう。ただし、134134…や145145…、235235…のように体から離れていく指の順番であることを守ってください。321321…や543543…など、体に近づけていく指順は少し難しく感じるかもしれませんが、それぞれ単独で練習して、スムーズに動かせるようになったらつなげてみてください。

最後に、これまでやってきた指の動きを両手で実践します。スムーズに動く方につられて雑になってしまわないように、比較的動きが鈍い方の手に意識を持っていきながら行いましょう。机上を叩く音がパタパタしないように、両指の音のタイミングや音量をしっかりと合わせることを心がけましょう。



▲動かす指以外はしっかりと机面につける

指を開閉するトレーニング

キーボードを演奏する時は、手のひらを開閉する動きが多くなります。キーボーディストにとって手が大きいことは1つのメリットです。手のひらをしっかりと開閉できたり、指が大きく開けると演奏の幅も広がります。

指は、骨の構造を考えると手首の少し上あたりから既に分かれています。その筋肉をほぐし

てあげることで指の開閉は大きくなります。

手の甲にある指の骨(中手骨)同士の間を、反対の手で優しくマッサージしてください。強くこすってしまうと筋を痛めてしまうので、力を抜いて優しくほぐすようにさすりましょう。筋肉が緩んでいるお風呂の中などで行っても良いでしょう。

また、手のひらを開いた状態から親指と小指をくっつけたり離したりしてみてください。中手骨が丸まっているのがわかると思います。この動作がスムーズにできるようにトレーニングしましょう。親指の第1関節の動きはキーボード演奏時によく行う「指くぐり」の動作です。



▲白い部分が「中手骨」。ここまでが指



▲中手骨同士の間を優しくマッサージ



▲手を開いたり閉じたりするトレーニング

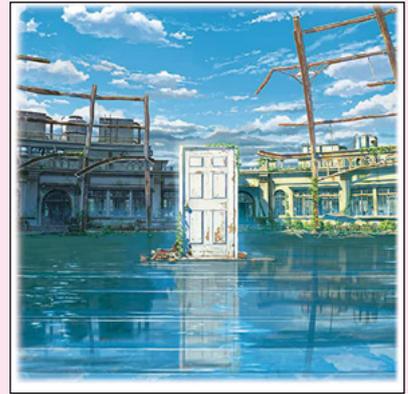


ロック解体新書 ボーカル編

文・伊丹谷良介

RADWIMPS カナタハルカ

～語りかけるようなボーカル～



この楽曲は、情緒的な作風を得意とする RADWIMPS が、2022 年に公開された新海誠監督の大ヒット・アニメ映画「すずめの戸締り」の主題歌としてリリースした配信限定曲だ。この楽曲の歌詞は映画の内容にシンクロしており、主人公の心情が表現されている。そして、まるで「語りかけるようなボーカル」は、前半は静かに、後半では壮大に…とドラマチックに歌い上げられ、綺麗で優しく、少しミステリアスにも感じる。

「優しさ」を間延びせずに聴かせる技……………

この楽曲の地声の音域の最低音が C # 3、最高音が G4 で、一度だけ出てくる裏声の A4 を除けば、音域は狭く全体的に優しいメロディーで歌い上げられている。ジャンルとしては「スロー・バラード」となるが、A メロ、B メロでは極力控えめな、「ウィスパー・ボイス」で表現されている。

ウィスパー・ボイスとは、直訳通り「ささやく」ような歌唱法であり、息が漏れた声という意味でもある。ボーカリスト、野田洋次郎の「声の優しさ」には様々な要因があるが、ウィスパー・ボイスは、この楽曲の「優しさ」を表現するポイントの 1 つにもなっている。例えば、A メロでは全体的に優しく歌われている中で、特に冒頭の「♪恋の意味も手触りも」の「手触りも」は、ウィスパー・ボイスが強調されており、歌詞の「優しさ」の表現に深みを与えている（譜例）。

また、全体的にゆったりと歌われているように感じるこの楽曲だが、



譜例 ※印の部分は「ウィスパー・ボイス」で強調され印象的に表現されている

実は隠し技のような歌唱法が多く散りばめられている。例えば、A メロの 2 段目の部分の「♪同じくらい絵空事」では、「おなじー くらいー えっ そーらごと」と、促音「っ」を入れている。これによって、ゆったりとした中に緊張感が生まれ、メロディー・ラインに締めりも出ている。

口語口調のまま歌詞を歌ってしまうと、だらだらと緩急のない歌に聴こえてしまうが、こういった細かいところに、間延びすることなく「歌の柔らかさ」を強調できている理由があるのだ。

バラードだからこそ大切なリズム感……………

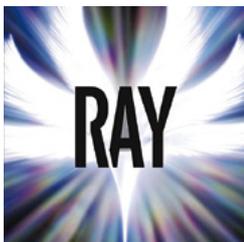
バラードは、きっちりとリズムに合わせなくても良いと思っている人も多いかもしれないが、逆にバラードほどボーカリストにはリズム感が重要となる。野田は楽器も演奏するボーカリストであるため、テンポや、音符や休符の長さである「音価」を理解した上で抑揚がつけられている。

この楽曲のサビの冒頭部分、「♪僕にはない 僕にはない」では、リズムをしっかりと意識して、伴奏のダイナミクスの抑揚に合わせて歌われている。語りかけるように優しく歌っているように聴こえても、実はアップ・テンポの楽曲以上に、ボーカルも 1 つの楽器としてしっかりとバンドの演奏とシンクロするように、16 分音符の細かいパルスや 2 拍 4 拍のバック・ビートなどを意識して歌われているのだ。



▲どんなタイプの歌でも「音楽」であり「合奏」である

参考にするなら、この曲もオススメ!



BUMP OF CHICKEN ray

日本を代表するバンドの 1 つ、BUMP OF CHICKEN のメジャー 5 枚目のアルバム『RAY』に収録。初音ミクともコラボレートした別バージョンもある。優しくクールに歌い上げる藤原基央のボーカルは今でも全世代に人気がある。2014 年リリース。



Maroon 5 This Love

アメリカの世界的なバンド、マルーン 5 の 2002 年にリリースされたデビュー・アルバム『Songs About Jane』からのシングル。シンプルなフレーズがループするバンドのトラックをバックに優しくグルーヴィーに歌うボーカルがクール。



文・岩尾 徹

LiSA 炎

～壮大なロック・バラードを支えるギター～



今や「アニソン女王」の名を欲しいままにするシンガー、LiSAが2020年にリリースした17枚目のシングルである「炎」(ほむら)は、映画「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」の主題歌で、世界的に大ヒットした。この楽曲は、スケールの大きい同映画の印象をすべて詰め込んだようなドラマティックで壮大なロック・バラードに仕上げられているが、その要因の1つとして考えられるのは、セクションごとに変わるギターのアプローチにあるといっても過言ではない。

楽曲の表情に繊細な変化を付加する・・・

イントロは、寄せ返す波音の響きからシンセサイザーの静寂感に包まれたようなフレーズから始まり、後半部分になるとエレキ・ギターがその世界に絡んでいくようなアルペジオで入ってくる。しかし、単純にコード・トーンを弾くだけのアルペジオではなく、コードの響きと前半からの流れに即した余韻を重視したメロディアスなラインになっている。そのため、これから何か動き出しそうな予感を感じさせる、繊細な変化をつけることができている。

イントロからの流れを引き継ぐ形のAメロは、ピアノが長い音価中心のゆったりとしたバックイングをし、ドラムも最低限のアクセントをつけるだけのアプローチをしている。そこへ、ギターの単音バックイングが加わるのだが、ストロークしながらブラッシングを入れるのではなく、ブリッジで弦をミュートしながらタイトにプレイをしている(譜例)。結果として、必要以上にアグレッシブにならず、世界観を崩すことなく

静から動へ徐々に移行する流れを生んでいる。

シンプルながら楽曲の土台を支えるバックイング・・・

Bメロでは、ドラムとベースが8ビートを刻ざみ、ギターはパワー・コード主体の8分音符をミュートしながら弾いている。この時、どこかにアクセントをつけながら弾いてしまいがちなのだが、あえてノン・アクセントで弾くことで、淡々としながらもどっしりしたグルーブになっている。



▲バラードは歌を意識してバンドの一体感を作ろう

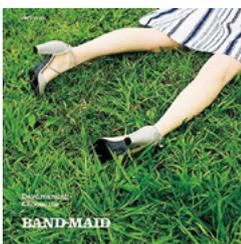
最大の盛り上がりを見せるサビでは、ストリングスが歌を盛り上げていく中で、ギターはパワー・コードのミュート・バックイングに、2、4拍目のドラムのスネアと同じタイミングでコードの和音をしっかりと出してアクセントをつけている。そうすることによって、あまり目立たないながらもリズムに勢いをつけることができ、さらに、ベースと一緒にルートを強調するパワー・コードのミュート・バックイングを弾くことで、華やかなストリングス・サウンドに重厚感がプラスされているのだ。

バンドで演奏する場合、サウンドに重厚感を求めるために音を過剰に歪ませてしまう場合も多いが、コード感がわかるぐらいの方がこういったロック・バラードにはマッチするだろう。



譜例 空(から)ピッキングと実音を確実に弾き分けることがポイント

参考にするなら、この曲もオススメ!



BAND-MAID Daydreaming

2017年にリリースされたガールズ・ロック・バンド、BAND-MAIDのメジャー2作目のシングル。これまでの彼女たちのイメージを覆す初のバラード曲。しっかりと重たいサウンドを奏でつつ、歌詞の世界感にマッチした繊細なプレイが印象的。



Heart Alone

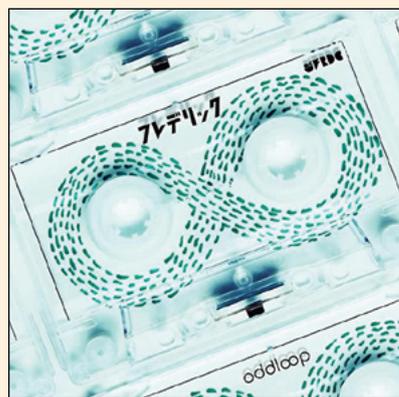
アメリカのナンシー姉妹によるロック・バンド、Heartが1987年にリリースした9thアルバム『Bad Animals』に収録。ヘヴィメタル・ムーブメントの影響で音作りもグラマラスでゴージャス。メロディーを意識した無駄のないギター・ソロは秀逸。



文・山田潤一

フレデリック オドループ

～「軸」が切り替わるリズムとフレーズ～



この楽曲は、2014年にメジャー・デビューした双生児の三原兄弟を中心としたバンド、フレデリックの1stミニ・アルバム『oddloop』の表題曲だ。動画サイトの再生回数も1億1000万回を突破する、バンドとしての代表曲でもある。ループするシンセサイザーのリフやサビのメロディーが印象的な楽曲だが、ベース・ラインはリズムやフレーズに変化をつけて弾くことで、ダンスとロックがうまく融合したビートになっている。

「リズムの軸」の変化・・・・・・・・・・・・・・・・

この楽曲のドラムは、ダンス・ミュージックなどでよく使われる「4つ打ち」を軸にフレーズが作られている。ベース・ラインも、それに合わせてフレーズを構成しているのだが、リズムの軸を変えることで安定感と浮遊感を作り出している。例えば、イントロでは勢いをつけるために「シンコペーション」を多用しているのだが、ドラムのアクセントがないまま裏拍が強調され、ある種の浮遊感を生み出している。さらに、フレーズが動く時に裏拍を連続して弾くなど、バス・ドラムとのリズムをあえて合わせないことで、より刺激的で印象的なフレーズがなされている。

逆に、Aメロやサビでは、8ビートでフレーズを弾くことで表拍にリズムの軸を置いている。リズムが安定するためリズム隊に一体感が生まれ、聴いていて安心感のあるセクションとなっている。このイントロからAメロの流れがまさに「リズムの軸の変化」なのだ。



▲オルタネイト、ダウンと、ピッキングを使い分けてリズムの軸の違いを表現

また、ライブなどの映像を見る限りでは、イントロはオルタネイト・ピッキングで、Aメロとサビではダウン・ピッキング…と、奏法を使い分けることでビート感に変化をつけている。

キー（調）に対するアプローチ・・・・・・・・・・・・・・・・

イントロのベース・ラインでは、少し変わったアプローチをしている。イントロのコード進行はEm7→A→Bm7→F#mで、最もフレーズが動いているのは4小節目のコードがF#mの時ののだが、この時のフレーズの動きが特徴的だ。

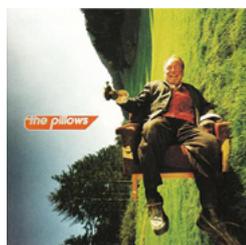
4小節目のフレーズは、ファ#、ラ、シという音使いをしている。前半はF#mの1度（ファ#）、3度（ラ）のコード・トーンなのだが、後半ではフレーズの終着点が2弦9フレットのシ（4度）の音になっている（譜例）。この音使いだけ見ると、コードとしてはF#mとBmのどちらでも当てはまるように聴こえる。一般的に、ベース・ラインはコードの構成音に対してアプローチすることが多いのだが、ここではコードF#mを意識しつつ、フレーズが動く時は楽曲のキーであるBマイナーも意識して弾いている。これによって、コードだけに囚われない面白いアイデアが生まれているのだ。

また、同様に8、12、16小節目も同じようにF#mの時のアプローチがBマイナー・キーを軸にフレーズ展開している。このように、フレーズ作りは楽曲のキーを意識しておくことも大事なので、演奏する時はしっかりと確認することが大事となる。



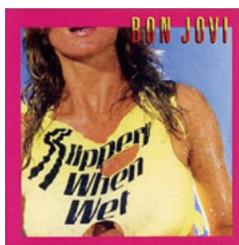
譜例 コードF#mのフレーズを弾く時にBマイナー・スケールも意識してみよう

参考にするなら、この曲もオススメ！



the pillows Funny Bunny

海外での人気も高いthe pillowsの1999年にリリースされた8thアルバム『HAPPY BIVOUAC』に収録。多くのアーティストからカバーされる。サビは8ビートで他は裏拍を軸にベース・フレーズを構成している。サビでのリズムの安定感が抜群。



Bon jovi Livin' On A Prayer

アメリカの世界的ロック・バンドBon joviの大ヒット曲。3rdアルバム『Wild In The Streets』からのシングル。ベースはイントロとAメロではキーのEマイナーのリフだが、コードが展開しているため独特の響きになっている。1986年リリース。



ロック解体新書 ドラム編

文・辻 伸介

Saucy Dog 結

～戸惑いと不安の中での前向きな表現～



Saucy Dog は、ジーンと胸に迫る「ゆるふわ」な楽曲を得意とする3ピース・バンドだ。この楽曲は2020年にリリースされたメジャー第2弾となるミニ・アルバム『テイクミー』に収録され、4枚目のシングルとして配信された。メジャー・デビュー以降快進撃を続ける彼らは2022年のNHK 紅白歌合戦への初出場も果たした。この楽曲は、彼ららしい恋愛ソングで、恋の始まりという幸福感の中にある戸惑いと不安が共感を呼ぶ。それは、楽曲のリズムが「ハーフタイム・シャッフル」であることや、無理のないダイナミクスのついたドラムのプレイによる部分も大きい。

柔らかくシャープなグルーヴ・・・・・・・・

この楽曲は、16分音符をハネて感じる「ハーフタイム・シャッフル」というリズムでアレンジされている。「タカタカタカ…」ではなく、「タツカタツカタツカ…」とスキップするようなグルーヴだ。揺れ動く感情のネガティブな面を主に歌詞とボーカルが担い、ポジティブな面をハーフタイム・シャッフルのリズムが受け持っているようだ。

彼らお得意の少し変わったコード進行やベース・ラインも、前者のカテゴリに入るが、歌を含めた演奏のキレの良さは聴いている者を前向きにさせる。特に、ドラマーであるせとゆいかのプレイは、女性ならではの柔らかさの中に速いショット・スピードによるシャープなスティッキングが心地良い。ゆっくりな4分音符の大きなビートを感じながら、しっかりと「ハネ」を感じているからこそそのプレイだといえよう。

ドラムの基本パターンは、ゴースト・ノートを入れて、少ない音数でハネたグルーヴを出している（譜例）。楽曲の中盤から6連符やキメが多くなっていくが、激しいフィル・インになっても「強さ」や「乱暴さ」は感じられない。そんな、ある種の優しさがドラミングの土台となって、バンドやこの楽曲を根拠から支えているのではないだろうか。



譜例 カッコ付きスネアがゴースト・ノート。ハネを感じて自然に入れられるように

ダイナミクスのつけ方で表現する感情・・・・・・・・

3ピース・バンドは特に、ドラムの打楽器としてのダイナミクス操作が重要になる。この楽曲のドラミングは、何度か繊細にダイナミクスをつけながら、エンディングに向かって大きなクレッシェンドになっている。それは音量だけではなく、フィル・インの音数やシンバルを使ったアクセントを増やしていく…、といった計算にもよる。楽曲を理解し、感情や歌い方の変化に寄り添うことができる音楽的な演奏だ。

また、スネアの表情のつけ方にも工夫がなされている。せとは、サビや盛り上がる部分では「オープン・リムショット」でバック・ビートを強調し、Aメロなどの落とすべきセクションではヘッドだけを叩いている。あえて低めにチューニングされたスネアでのノン・オープン・リムショットでしっかりとしたサウンドが出せているのも、柔らかくシャープな速いスティッキングから生まれているのだ。



▲リムとヘッドを同時に叩く「オープン・リムショット」

参考にするなら、この曲もオススメ！



Carpenters I Need To Be In Love

1976年にリリースされたアメリカのカーパーンター兄妹によるポップ・バンド、カーパーンターズの4thアルバム『A Kind of Hush』からのシングル。心に染みるカレン（Vo&Ds）の歌声と共に、温かく小粋なドラムが恋に臆病な女性の背中を押す。



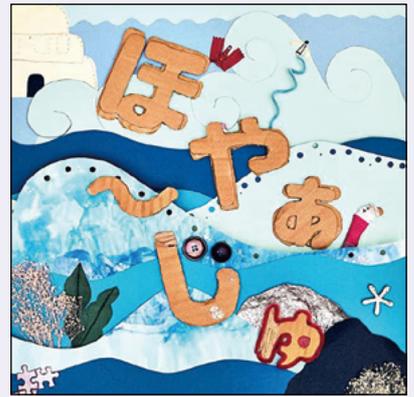
GLAY HOWEVER

日本を代表するロック・バンド、GLAYの1997年にリリースされた12枚目のシングルにして代表曲の1つ。真摯でひたむきな愛の告白にハーフタイム・シャッフルのグルーヴがよく似合う。Aメロのレゲエ・フレーバーのアレンジも効果的。



黒子首 トビウオ愛記

～アレンジの要はキーボードの音色～



この楽曲は、2022年にメジャー・デビューした3ピース・バンド、黒子首（ほくろくび）の1stアルバム『ベンシルロケット』に収録されている。透明感のある歌声が印象的な堀胃あげは（Vo&Gt）が中心のロック・バンドだが、堀胃のメイン・ギターがアコースティック・ギターであることも特徴で、サウンドは独特な世界観を作り出している。この楽曲では、サポートとしてのキーボードが様々な音色で演奏されていて、アレンジ的にもロックの枠を飛び出したポップ・チューンに仕上がりが、軽快で心地良い。「黒子首」のバンドとしての良さが全面に出ている。

多ジャンルを取り入れた中に光るキーボード・・・

ドラムのバス・ドラムが「4つ打ち」の、いわゆるディスコ・ビートが土台にあるこの楽曲だが、実は各セクションに様々なジャンルの要素が散りばめられている。そして、その要素の特徴をキーボード・パートがさりげなくサポートしている。

最もわかりやすいのは、2コーラス目のBメロで演奏されているリズムだ。これは、「3-2 クラベ」と呼ばれ、カリブ海を中心とした中

米で定番のリズムだ（譜例）。それに伴い、随所で演奏されている「スティール・パン」の音色が生きてくることになる。スティール・パンとは、中米の国トリニダード・トバゴのドラム缶の底面



▲トリニダード・トバゴの楽器「スティール・パン」

を加工して作られた打楽器だ。マレットなどで叩いて演奏されるが、明るい金属的な音が特徴的だ。この独特な音色が各セクションでアクセントとなり、より楽曲のポップ感を作り出している。

また、1コーラス目のBメロでは、ドラムの倍テンのフィールと共に弦楽器「バンジョー」の音色も入り、アメリカのカントリー・ミュージックを感じさせるアレンジになっている。1曲の中に様々な要素を加えながら、しっかりとまとまった楽曲になっているところは見事だ。



譜例 2コーラス目のBメロ、「3-2 クラベ」のラテン風リズム

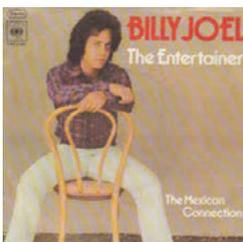
「リードシンセ」の典型的な使い方・・・・・・・・・・

この楽曲でもう1つ重要なのは、シンセサイザーの音色だ。様々なジャンルの融合とポップ感を担っているのは、イントロやサビなどで演奏されている「アナログ・シンセサイザー」の音色であることも大きな特徴だ。

メインで使われてる音色は、アナログ・シンセサイザーの波形としてメロディーなどのリード系によく使われる「バルス波」の音色だ。この波形は「ノコギリ波」ほど鋭くないが、倍音を多く含んでいるため音色としての抜けが良い。また、単音で演奏することで音をつなげる「ポルタメント」がボーカルとうまくマッチングしている。

さらには、アコースティック・ピアノや「パッド系」の音色も各所に入っており、アコースティック・ギターが中心のトリオ・バンドをサポートするキーボードとしては、非常にクオリティーの高いアレンジとなっているが、バンドの良さを引き出すようにうまくまとまっている。

参考にするなら、この曲もオススメ！



Billy Joel The Entertainer

1974年にリリースされたアメリカのシンガー・ソング・ライター、ビリー・ジョエルの3rdアルバム『Streetlife Serenade』に収録。統一感がありつつ様々なジャンルのエッセンスを取り入れ展開される。イントロや間奏のシンセサイザーも特徴的。



ポルノグラフィティー サウダージ

尾道出身のバンド、ポルノグラフィティーの4thシングル。全面にラテンのリズムを打ち出した楽曲で、カリブ海的なリズムや南米の「folklore」も取り入れ、エスニック感の強いアレンジが楽曲の力強さを押し出している。2000年リリース。

全部わかるかな？



軽音ミュージッククイズ

MUSICQUIZ 9

第1問 テクニック



難易度
♪♪♪♪♪

ギターの奏法で、主に和音をクリーン・トーン気味のサウンドでリズムカルに弾くことを何と言う？

- A: ライディング
- B: タッピング
- C: カッティング

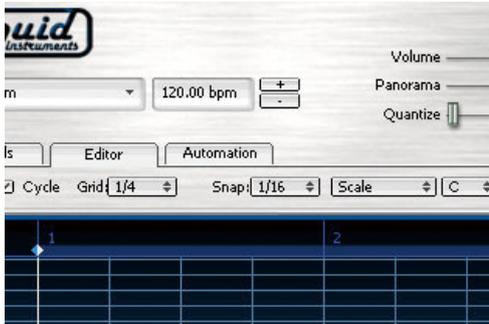


第2問 音楽理論



難易度
♪♪♪♪♪

テンポを表す「BPM」。頭文字からできている言葉なのですが、意外と知らない正式名と意味は？



第3問 楽器・機材



難易度
♪♪♪♪♪

マイク（マイクロフォン）には大きく「ダイナミック・マイク」と「コンデンサー・マイク」があります。主にボーカルに使うのはどっち？



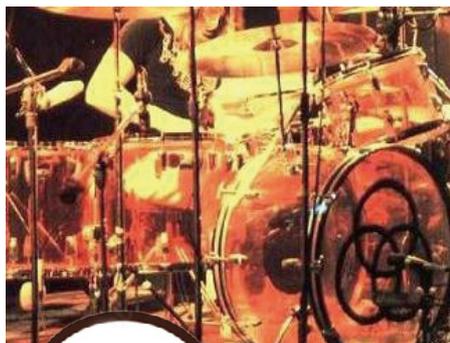
第4問 テクニック



難易度
♪♪♪♪♪

1970年代に活躍したイギリスのバンド、レッド・ツェッペリンのドラマー、ジョン・ボーナムのドラム・ソロの特徴は？

- A: 長時間
- B: 素手で叩く
- C: ドラムごと回転する



全問、答えられたかな？
今わからなくても、答えを知って覚えればいいんだ。
目指せ、軽音楽の「ものしり博士」。

正解と詳しい
解説はこちら…



DTMクリエイターの仕事

アイデアを元に様々な音楽を作ります

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は DTM クリエイターの仕事について、専門学校 ESP エンタテインメント東京の澤田先生に伺いました。

ー DTM クリエイターの仕事について教えてください

澤田：DTM (Desk Top Music の略称) とはパソコンなどのデバイスを使用して、作曲やアレンジなどを行うことを全般を指します。それらに携わる人々を「DTMクリエイター」と呼んでおり、ざっくりとえば「作曲家」のことです。しかし、単に作曲家といっても、実際に行っている作業は多岐に渡ります。一例を挙げると、

- ・骨子になる作詞／作曲
- ・作った曲に合わせた楽器編成やアレンジを考える (編曲)
- ・歌やギター、ベース、ドラムを録音する
- ・打ち込んだり、録音した音源 (トラック) を 1 つのファイルに結合する (ミックス)

こういったスキルを駆使して、音楽やゲーム、映画など、あらゆる場面で使われている音楽を作り、収入を得る仕事です。

音楽制作会社という作曲家集団のような会社に所属したり、フリーランスで活躍する人が目指すべき姿となりますが、実際には、活動を始めた直後から組織に所属したり、仕事がたくさん入ってくる＝活躍できる人は、あまりいません。自宅で完結できるのももちろん、必要な設備投資が個人でも始められたり、手軽であることから、普段は他の仕事をしながら、副業として DTM に打ち込んでスキルを磨き、収入アップを目指す人も多い業界です。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？



▲作曲やアレンジを行うのが DTM クリエイターです

高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

澤田：最終的には音楽理論を身に付けておいたり、DTM ができる機材 (PC やオーディオ・インターフェイス、DTM ソフトウェアやプラグイン、シーケンサーなど) を自分で用意する必要がありますが、いきなり理論先行で勉強したり、設備を揃えていこうとするのは危険です。まずはメロディーやバックিং、ドラムパターンに注目しながらいろいろな曲を聴いたり、コピーをしてみてください。

また、iPhone や iPad には無料で使える DAW アプリケーション「Garage Band」がインストールされています。例えば、バンドでコピーした曲のコード進行をそのまま使用して、ギターや鍵盤のトラックを打ち込んでみる。できた伴奏に合うように鼻歌を iPhone で録音し、メロディーのトラックとして乗せていく…。これだけでも、いざ本格的に DTM を始めようとした時の取っかかりとしては十分です。

音楽理論とは「この音と、この音を合わせるとかっこよく聴こえる！不気味に聞こえる！」という人類の経験が蓄積されてできたものです。自分で実際に触れながら身に付けていき、専門学校や大学では、より本格的な理論として無理なく覚えていけます。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

澤田：自分のアイデアを元に「すべてを自分の手で完結できる！」というのが一番面白い点ではないでしょうか。演奏できる楽器は自分で録音すれば良いし、演奏できない楽器もうまく打ち込んで調整すれば、本物のように



▲DAW ソフトを使用して、楽曲を組み立てていきます

聴かせることができます。自分が手がけた世界＝作品が評価されて、それが仕事になるのは最高だと思います。

ー この仕事の大変なところを教えてください

澤田：「作曲」だけで生活していけるようになるのは、なかなか大変です。そのため、他の仕事をしながら、SNS にアップしてオーディエンスの反応を見たり、楽曲コンペに参加したり、Web 上で募集している単発の仕事をごこなすことで資金と経験を積み、テクニックを磨いていく人が多いです。今、売れている音楽や次に流行りそうな音楽の傾向を掴むために、常にアンテナを張っておく必要があります。また、作曲 1 本で取り組むのであれば、曲の数とクオリティを両立させなければなりません。常に音楽のことを考える生活が待っているのは大変でもありますが、きっと楽しいと思います。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

澤田：もちろん才能の有無もありますが、一番は根気よく取り組める人です。楽しそうな仕事ではありますが、作業内容は地味なことが多いかもしれません。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

澤田：まずは「こういう音楽が作りたい！」というモチベーションです。趣味の延長で取り組める印象がありますが、やはり仕事なので「いつまでに仕上げること！」という締切設定があります。これの連続に打ち勝つモチベーションが大切です。

次に、今の時流やクライアントが望む音楽を掴む吸収力やセンスです。やはり採用される楽曲や売れる楽曲には理由があります。よりチャンスを広げるためにも、普段からいろいろな音楽に触れ続けるようにしてください。

最後に、吸収したものを表現するためのアイデアですね。アイデアの元や必要なスキルの基本は専門学校や大学で学べます。そこから先は自分で作曲を続ける中で、どんどん磨いていってください。



やりたいこと
が見つかる!

音楽・芸能・楽器の専門学校

TOKYO



Entertainment

音楽アーティスト科

- ヴォーカルコース
- ダンスヴォーカルコース
- シンガーソングライターコース
- ギターヴォーカルコース
- サウンドクリエイターコース
- ギターコース
- ベースコース
- ドラムコース

声優芸能科

- 声優養成コース
 - ▶演技専攻
 - ▶アーティスト専攻
- 俳優養成コース

音楽芸能スタッフ科

- アーティストスタッフコース
 - ▶マネージャー/レコード会社専攻
 - ▶ファンクラブ/デザイン専攻
- レコーディングコース
- PA&レコーディングコース
- PAコース
- 照明コース
- ライブハウスコース
- ローディーコース
- 舞台製作コース
- 企画制作コース
- 音楽スタッフ総合コース
 - ▶プロダクション専攻
 - ▶サウンドエンジニア専攻
 - ▶照明/映像専攻

ピアノ調律科

- ピアノ調律コース
- ピアノ/管楽器コース

管楽器リペア科

- 管楽器リペアコース
- 管楽器/打楽器コース

ギタークラフト科

- ギター製作コース[2年制]
- ギター製作総合コース[3年制]
 - ▶ギター製作専攻
 - ▶ギターリペア専攻
 - ▶アンプ・エフェクター専攻
 - ▶ギターデザイン専攻
- 楽器技術研究科



OPEN CAMPUS

体験授業・学科共通説明会・コース別オンライン個別相談会

10月9日(日) 11月13日(日) 12月11日(日) 1月29日(日)
2月26日(日) 3月5日(日) 3月26日(日)

「平日学校見学会」・「オンライン学校説明会」等も開催中!

お申込み・体験授業の詳細はコチラ >



学校法人イーエスピー学園

専門学校 ESPエンタテインメント東京

入学事務局(本館)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19
TEL:03-3368-6840/FAX:03-3368-6815

0120-37-6986
<https://www.esp.ac.jp/tokyo/>



LINE

Twitter

YouTube

プレイヤー（演奏者）の仕事

楽しみつつ、努力を継続できること！

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はプレイヤーの仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツ／音楽総合学科 ギターコースの加藤先生に伺いました。

－ プレイヤー（演奏者）の仕事全般について教えてください

加藤：大きく分けると、シンガーやアーティストのCDや配信専用の音源を制作する上での「レコーディング」のサポートと、それに付随するライブやツアーの「演奏」のサポートに分類できます。この2つが大きな柱になります。また、通常はレコーディングの現場にアレンジを専門に行うアレンジャーさんがいるのですが、いない場合は自分のパートのアレンジも仕事に含まれることがあります。

ここ数年のトレンドで言うと、やはりYouTubeの配信やTikTokの投稿が増えているため、どの作業も自分で行う方が多い印象です。自分の楽器の演奏だけに留まらず、デスクトップミュージック（DTM / Desk Top Music）…つまり、演奏からレコーディングまでをすべて自分でやってしまうアーティストが増えてきていると思います。

－ 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？ 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

加藤：シンガーやプレイヤーを目指す人たちは音楽が好きだったり、聴く側よりも演奏したり、「歌いたい！」という意思があると思うので、やはり自分の好きな曲だったり、興味のあるものをたくさん聴いておくのが良いと思います。

聴き方のアドバイスを大まかに言うと「この曲、かっこ良いよね！」という感想を持った際に「具体的には、どこがかっこ良いのか？」「他の楽曲と比べて、どの部分に特徴があるのか？」という感想や分析する目線を持ると

良いと思います。音楽専門学校や音楽大学に進学してから学べますが、自分の好きな楽曲のコード進行やサウンドの傾向を分析しながら音楽が聴けると、それが自分の糧になるのはもちろん、謎解きにもなるので、答えがわかった時が快感になります（笑）。

また、自分が上達したいと考えている楽器の構造を深く理解したり、ギターやベース、キーボードなどの簡単なコードの押さえ方やドラムであれば、いくつかのビートを叩けるようにしておく、スムーズに上達できると思います。

－ この仕事の楽しいところを教えてください

加藤：レコーディングに関して言うと、自分が弾いたものや叩いたもの、歌ったものが、YouTubeやテレビ、ラジオ、SNSをはじめ、パブリックなところで流れたり、聴くことができた時の高揚感ですね。「自分が携わった作品だ！」という思いを強く感じられる瞬間だと思います。また、ライブではバンドのメンバーがいるので、一緒に演奏する際の高揚感やお客さんと盛り上がった際の一体感というのは、やりがいを感じるところですね。

－ この仕事の大変なところを教えてください

加藤：楽曲のレコーディングに臨んだり、ライブでお客さんと一体になるためには、どうしても事前の準備が必要になります。日頃から自分のテクニックを磨いておかないといけないのはもちろん、コツコツと練習に時間を割くのは、やはり大変なことだと思いますし、自分一人だけでは完結できないところなので、周りの人とうまく付き合っていく「人付き合い

い」も努力が必要な部分だと思います。

－ この仕事は、どんな人にオススメですか？

加藤：「明るい人」が良いですね（笑）。当たり前ですが、暗い顔で現場に行っても、良いことは1つもないので、明るく振る舞える人が良いと思います。それから、「約束を守る人」でしょうか。「●時からリハーサルをやりまします」という場面で、30分や1時間の遅刻をしたら、みんなの足並みが揃わなくなるほか、「この人って、どの程度まで真剣に取り組んでいるのだろうか？」という風に思われてしまうので、時間や約束にルーズではいけません。

－ この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

加藤：まずは「体調管理」ですね。健康でいるのは先述の約束を守ることに通じますし、例えば、ライブのツアーになると、1週間や2週間程度の旅になるので、そういう場面で体調管理ができない人は周りにも迷惑をかけてしまうことになります。日頃から規則正しい生活を心がけて、臨みたいですね。

2つ目は、よく音楽をする上で「才能がある（ない）」という表現をしますが、私は「才能＝努力ができること」だと考えています。コツコツと地道な練習に取り組み、自分の状態を最高潮に保っておくこと。そういう努力をできることが才能だと思うので、「努力」も大切な要素の1つです。

3つ目は「思い切る気持ち」です。この世界は思い切りの良い人が向いており、どの現場でも緊張すると思うのですが、ビクビクすることなく、「とりあえず、やってみよう！」という強い気持ちを持てるのが大切です。

音楽が好きで始めたのにもかかわらず、日々の練習や人間関係などが原因で、楽しくなくなるのは本末転倒なことなので、好きな音楽を聴いたり、楽しんでいこうとする気持ちを保つために力を使うのが大切だと思います。どの業界にも言えることですが、あまり「仕事感」という部分が色濃くなって欲しくないと考えています。



▲ライブで観客と一体になるのがプレイヤーの醍醐味



▲スタジオでのレコーディング作業も仕事の1つです



Vocal Course
Guitar Course
Bass Course



Drums Course
Sound Creator Course
Public Address Course
Stage Lighting Course
Recording Course

General Music Department 音楽総合学科

授業は実習をメインに、業界の第一線で活躍するプロが少人数体制で直接指導。徹底的に現場を意識した設備・環境の中で学びながら、2年間で現場の即戦力となる人材へと導きます！



Vocal / Guitar / Bass / Drums



Sound Creator



Public Address



Stage Lighting



Recording

豊富な実践型授業 「業界に求められる」を目標とした実践型授業



アーティスト写真撮影

東京ビジュアルアーツの学内には写真スタジオが多数あり、写真学科の学生と自身のイメージを相談しながらアーティスト写真を撮影します。



オリジナル作品制作

一人ひとりオリジナル楽曲を制作します。作曲をしてアレンジし、レコーディングスタジオで録音、ミックス、編集、マスタリングを行い、配信デビューまでを授業で行っていきます。



MV撮影

オリジナル楽曲のMVを作ります。映像学科と合同授業で企画から納品までのプロセスを学び、自身のプロモーションに活用することができます。

TVAオープンキャンパス 経験不同 参加無料 要予約

2/12 (SUN), 19 (SUN), 25 (SAT), 26 (SUN) ■来校 ■オンライン

ミュージシャンではボーカルやプレイヤーのパート別レッスン、課題曲でのバンドレッスン、スタッフではライブホールでPA・照明体験、スタジオでサウンドクリエイターのお仕事を体験しよう！



現役で活躍するプロの先生や在校生が丁寧にサポートするので、ぜひお気軽にご参加ください！

高校2年生向けの DREAM CAMPUS 開催!

☆参加特典満載の特別イベント!
開催日時: 2/19(日) 13:30~16:00
■バンド体験 ■ライブPA・照明体験
■レコーディングエンジニア体験
■サウンドクリエイター体験

実際に見て、ふれて、パンフレットだけではわからない学びの楽しさを見発するチャンス!



TOKYO VISUAL ARTS Adachi学園グループ
学校法人 **東京ビジュアルアーツ**
専門学校

〒102-0081 東京都千代田区四番町11 www.tva.ac.jp

お問い合わせ

東京ビジュアルアーツ 入学相談室

TEL 0120-64-6006

Email: info@tva.ac.jp



音響（コンサートPA）にまつわる仕事

感動を演出する一員になれる仕事です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は音響（コンサートPA）にまつわる仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツ／音響学科の永田先生に伺いました。

ー コン서트における音響の仕事について教えてください

永田：高校生の皆さんに馴染みがあって、イメージがしやすいのは、ライブハウスにおけるPA（音響）の仕事ではないでしょうか。その次にわかりやすい例を挙げると、ドームやアリーナで開催されるライブや野外フェスティバルなどの大規模なコンサートやイベントにおけるPAをはじめ、小劇場やショッピングモールのイベント広場で行われるイベントに携わることもあるなど、小さい規模のものから大きなものまで、様々な現場の「音」に携わる仕事になります。

軽音楽部に所属している皆さんであれば、ライブやコンサートは身近に感じると思うのですが、音楽以外にもトークイベントやファッションショー、演劇やミュージカルなど、催し物の規模の大小や内容の違いはありますが、「観客に音を届ける」という点では、どの現場も共通しており、そこで必要になるのが、PAの仕事になります。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？ 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

永田：音響に関する専門的な知識は入学後に基礎から学べますので、安心してください。高校時代にやっておくと良いことをアドバイスすると、「たくさんの音楽を聴いてください」ということでしょうか。自分の教養を広げられるのはもちろん、音楽のルーツにも触れられると思います。また、PAに直結する部分で言うと、ライブやコンサートをたくさん見て欲しいです。実際に足を運べるのがベ

ストですが、難しい場合は配信ライブやライブ映像でも構いません。どんな形でも良いので、「ライブ」というものをできるだけ見て欲しいと考えています。音楽を聴いたり、ライブを見ることによって、そういったものが好きな気持ちをどんどん高めてもらいたいですよね。これが本当に大切で、好きなことを仕事にしていく情熱にもつながるので、高校生のうちにその気持ちを高めておくことが大切だと思います。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

永田：PAの仕事は、お客さんや出演者と一緒に楽しさや感動を味わえるものです。特に本番はリアルタイムで進行するので気を抜くことができません。緊張もしますが、そういった空間を作る一員になれるのが楽しいところの1つであり、仕事の醍醐味だと思います。

また、出演者やスタッフの方々との信頼関係が深まり、必要とされているのを感じる瞬間に立ち会えると、とてもやりがいを感じます。毎日、音楽やエンターテインメントに触れられるのも、この仕事ならではの楽しいところではないでしょうか。音楽業界の相関関係やつながりがわかってきたり、新しい演習方法や音響技術に驚かされるなど、驚きと発見の連続です。

ー この仕事の大変なところを教えてください

永田：一般的な会社員のように、9時に会社へ出勤して、18時に退社するような毎日ではない点ですね。勤務時間が毎日固定されているわけではなく、現場によって会場入りの時間が違いますし、頻繁ではないかもしれな

いのですが、朝がすごく早かったり、深夜まで作業をすることもあるなど、就業時間が流動的になる点は知っておいて欲しいですね。ただし、現場作業がない日は会社に出勤して、事務作業をしたり、機材のメンテナンスなどをするので、一概には言えないのですが、少し特殊な業界ではあると思います。

関連して、主に土曜日や日曜日、祝日などにイベントやライブ、コンサートが開催されるので、必然的にその日は仕事になります。代わりに平日がお休みになることが多いので、「ちゃんと土日に休みたいんだ！」という人は覚悟が必要です。あるアーティストのツアーやイベントなどで各地を回ることになると、会場が異なるのはもちろん、移動時間も生まれまじし、宿泊先も毎回異なります。それらが苦痛に感じる人にとっては、大変かもしれません。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

永田：1つ目は音楽やエンターテインメントへの情熱の気持ちを絶やさないことだと思います。苦しいと感じることがあっても、自分の気持ち次第で、いくらでもリカバーができるので、「好きだ！」という気持ちや「もっと良くしたい」というこだわりがあると、必然的にモチベーションが高まっていくと思うので、ぜひ情熱を持ち続けてください。

2つ目は、失敗を糧にできる力を持つことです。いろいろなことをどんどん吸収していかないといけないため、いきなり完璧にはこなせません。ミスしてしまうこともあると思いますが、ミスをしてしまったから、「ダメだ～、終わった…」ではなくて、そのミスを糧にして、次につなげていく姿勢を保ち続けられると苦しくなくなりますし、自分自身の成長につながると思います。

3つ目は、健康な体を維持することです。音響の現場は体力勝負の世界で、体を壊してしまうと仕事になりません。足を捻挫したり、骨折などをしてしまうと、現場に行けなくなってしまうので、日頃から怪我に気をつけて、健康を維持することが大切です。



▲ミキシングコンソールの操作方法を授業で学びます



▲イベント実習の様子。客席後方にブースがあります

NAGOYA

VISUAL ARTS



公式HP

好きが私の原動力。

パフォーミングアーツ学科

声優コース
俳優・タレントコース
ダンサーコース

ミュージシャン学科

ボーカルコース
ダンスボーカルコース
ギターコース
ベースコース
ドラムコース
キーボードコース

音響学科

PAコース
照明コース
企画・制作コース
レコーディングエンジニアコース
映像音響コース
サウンドクリエイターコース

映像学科

バラエティー番組コース
ドラマコース
ライブ・中継技術コース
映画監督コース
映画技術コース
動画ディレクターコース
動画ミュージックビデオコース
動画VFX・3DCGコース

写真学科

商業フォトコース
ライブフォトコース
ファッションフォトコース
スポーツフォトコース
営業写真コース
写真作家コース
ブライダルフォトコース
クリエイティブフォトコース



学校法人Adachi学園 / 専門学校

NVA 名古屋ビジュアルアーツ

NAGOYA VISUAL ARTS

文部科学省認定専修学校

職業実践専門課程認定校

お問い合わせ

入学相談室

TEL : 0120-7575-48

Email : go@n-visual.net



レコーディングにまつわる仕事

相手のニーズを察知する力が必要です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はレコーディングにまつわる仕事について、日本工学院専門学校／音響芸術科の我妻先生に伺いました。

ー レコーディングにまつわる仕事について教えてください

我妻：レコーディングの仕事は、基本的には「音楽録音」がメインになるのではないかと思います。レコーディング・スタジオで行われる作業の全責任を負うのがレコーディング・エンジニアの仕事です。DAW ソフトを駆使しながら、技術的な部分も含めて、音声データとして記録をし、音楽をパッケージ化するまでの録音作業のすべてを担当するのが、レコーディング分野の仕事です。

音楽録音の他には、ナレーションの録音やテレビ番組の屋外での収録なども携わるのですが、メインになるのは音楽録音の分野になります。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方が良くも教えてください

我妻：入学後、イチから学べる環境になっているので、特に「これを勉強して来てください」という要望はありません。あえて言うとなると、「知識」という意味では、楽器や機材をはじめ、レコーディングを行うにあたり、音楽用語が英語であることが多々あるので、それらの意味を学んでおくとも良いかもしれません。英語で会話をするわけではないので、英会話ができるレベルは求めてはいないのですが、音楽業界で耳にする単語と、その意味を理解しておく、良いスタートダッシュを切れると思えますし、世界が広がるのではないのでしょうか。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

我妻：レコーディングは楽器を演奏する感覚

と似ているところがあるんですね。つまり、自分の指先で行ったことが音楽に反映されていく…指先のちょっとした使い方によって、サウンドがガラリと変わる…という面白さのような、自分の行った結果が音楽に反映されるという部分が楽しいところではないかと思います。

人によっては、自分が手がけた作品がリリースされたことだけに満足する人もいますが、一番はその作品に携わることによって、自分が持っているサウンドと、その音楽が融合した場面に立ち会えたこと…そういうのが一番楽しい瞬間ではないでしょうか。たとえば自分が手がけた作品を忘れてしまったとしても、何となく自分のサウンドの作り方や、そのニュアンスというのは音楽性の中に凝縮されています。ですので、「もしかしたら、自分が担当した曲かな？」というくらいに自分の色（カラー）を音楽に反映できるということも楽しいところだと思います。

ー この仕事の大変なところを教えてください

我妻：作業の大変さは人それぞれなのですが、それ以上に言われているのが、「多様性」が叫ばれている中で、音楽録音の作業を例に挙げると、録音のいろいろな進め方やアプローチのやり方が増え、テクノロジーもどんどん進化しています。いろいろな選択肢の中から自分のやり方を見つけていく、常に模索していなくてはいけない、というのが大変に感じる一方で、楽しい部分でもあるのですが、そういう点を常に研究し、磨いていかなければいけない部分がある意味では、楽しい反面、大変に感じる部分かもしれません。

どうしても作業が複雑になりがちで、長時

間に及ぶこともあるため、そういう意味の大変さもあると思うのですが、それ以上に現代は多様なことになっているので、それらに対応していくというのは皆さん、割と苦労されているのではないかと思います。特に現代はコンピューターを駆使して作業を行います、コンピューターも中身がどんどん変わっていくので、それらにも着いていかなければなりません。昔、使っていたものをそのまま使う…というわけにはいかない点では、日進月歩で進化する技術やトレンドに置いていかれないように努力や研究をし続けるのが大変かもしれません。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

我妻：ゴールの先にクライアントやアーティストがいるなど、レコーディング・エンジニアの仕事は一人で成立するものではないので、そういった人たちのニーズに応えることができ、相手のことを考えられる、人間的な部分が必要になってくると思います。自分だけが「こうしたい！」と言っても、それはニーズがあつてからの話になるので、コミュニケーションも含めた、相手の要望を察知する能力も必要になります。

また、レコーディング・エンジニアの仕事長く続けるという意味では、「仕事が好き」や「音楽が好き」ということも含めて、今、取り組んでいる作業が楽しいと思えないと、なかなか長くは続けられないのではないかと思います。地味な作業もありますが、どこかに楽しみを見つけながら、仕事に従事してもらいたいですね。

3つ目は、音楽やレコーディングに好奇心や探究心を持ち続け、それを「仕事」としてこなしていくためにも、きちんとした技術力を備えておかなければいけません。決して趣味でやっているわけではなく、生活していくための仕事として、レコーディング・エンジニアを生業にしているので、報酬が受けられるレベルの仕事を保険しなくてはならない部分も大切な要素の1つだと思います。



RECORDING
ENGINEER

DANCER

コンサート・イベント科
卒業LIVE

蒲田キャンパス主催

1/31(火)・2/1(水)
@Zepp Haneda (TOKYO)

八王子キャンパス主催

1/31(火)
@J:COMホール八王子 (八王子市民会館)

2/6(月)・2/7(火)
@KT Zepp Yokohama

詳しくはコチラ→



ONE WITH MUSIC!

プロもうらやむ充実した施設・設備。業界屈指のスキルを有した講師陣。
強力な業界デビュー&就職サポートで将来も安心。
あらゆる音楽好きにマッチした環境の日本工学院で、
あなたの想いを音楽に乗せて奏でよう!

VOCALIST

MUSICIAN

CONCERT
STAFF

MUSIC COLLEGE
CONCERT EVENT DEPT.
CREW

ミュージックアーティスト科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス 八王子キャンパス
プレイヤーコース/ヴォーカリストコース/サウンドクリエイターコース

コンサート・イベント科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス 八王子キャンパス
コンサート制作コース/コンサートPAコース/コンサート照明コース/
コンサート舞台コース/イベント企画コース

音響芸術科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス 八王子キャンパス
レコーディングエンジニア専攻/MAエンジニア専攻/ラジオスタッフ専攻

ダンスパフォーマンス科 職業実践専門課程

蒲田キャンパス
プロダンサー専攻/バックダンサー専攻/ダンス&ヴォーカル専攻/
コレオグラファー(振付)専攻/ダンスインストラクター専攻/
テーマパークダンサー専攻

日本工学院 ミュージックカレッジ

日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

<https://www.nec.ac.jp/>

LINE @nihonkougakuin Twitter @nec_official Instagram nihonkogakuin

入学願書
受付中!



ミュージシャン学科

ボーカルコース
ギターコース
ベースコース
ドラムコース
サウンドクリエイターコース

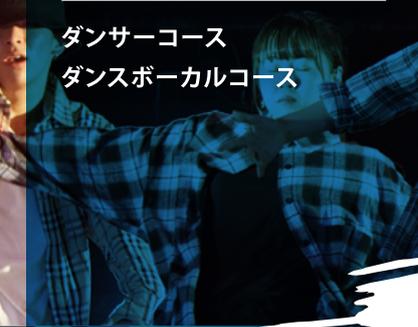


マスコミ出版・芸能学科

芸能マネージャーコース
企画・制作コース
ファンクラブスタッフコース
WEB出版コース
スポーツ出版コース
ファッション誌コース
アニメ出版コース

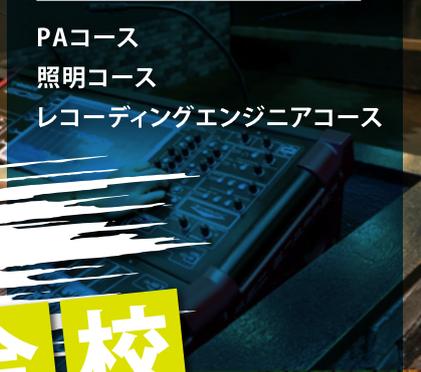
ダンス学科

ダンサーコース
ダンスボーカルコース



音響芸術学科

PAコース
照明コース
レコーディングエンジニアコース



エンターテインメント& クリエイティブの総合校

声優学科

声優コース
俳優・タレントコース



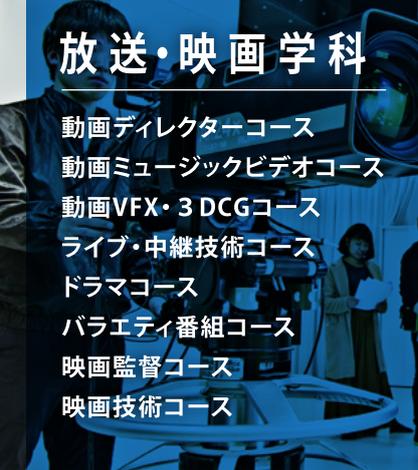
映像音響学科

映像音響コース



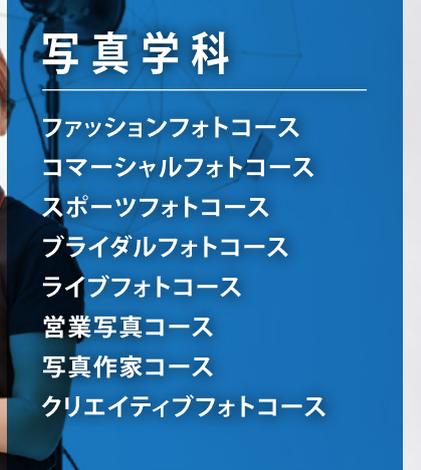
放送・映画学科

動画ディレクターコース
動画ミュージックビデオコース
動画VFX・3DCGコース
ライブ・中継技術コース
ドラマコース
バラエティ番組コース
映画監督コース
映画技術コース



写真学科

ファッションフォトコース
商業フォトコース
スポーツフォトコース
ブライダルフォトコース
ライブフォトコース
営業写真コース
写真作家コース
クリエイティブフォトコース



オープンキャンパス受付中!

詳しくは
下記または
学校HPへ

お問い合わせ

VAO 学校法人 Adachi学園
ビジュアルアーツ専門学校大阪
〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-23

[WEB] <http://www.vao.jp>
[フリーコール] 0120-69-2299
受付時間 9:00~18:00

[Email] info@vao.jp

公式SNS

LINE



Twitter



Instagram



文部科学省認定専修学校

職業実践専門課程認定校



Choose your color.

選べる多彩な23カラー

ストレートなロック・サウンドを携えた“WST-STD”。
まるでカスタムオーダーのような感覚でボディ・カラーをチョイス出来るトータル23カラーをラインナップ。



Greco[®]

WS Series **WST-STD**
¥Open Price
Proudly made in Japan

Fender®



Be the One.

本物を掴め

FENDERの創始者レオ・フェンダー。

ラジオの修理業で培った技術を活かして、音楽用のアンプを作り多くのエレクトリックギターを生み出した。

プレイヤーを天使と呼び、テレキャスターやストラトキャスターなどの名器を作りサポートを続けた彼が実はギタリストではなかったことは意外な事実として歴史が語り継いでいる。彼の創造性と情熱だけがいまに語り継がれる類のない名作を生み出したのだ。

いまや世界のプロフェッショナルに愛されるまでになった我々のエレクトリックギターのヘッド、ネック、ボディ、PUシステムそのすべてはレオ・フェンダーによる独自のデザインで構成されている。

その完成度の高さから市場には知的財産権を無視した多くの模倣品が溢れかえることになったが姿かたちを真似ただけのそれらにレオ・フェンダーの情熱は存在しない。

もしもあなたがギターを手にするならば

創設時より絶えることのないスピリットが宿ったFENDERを掴め。

あなたと本物のギターだけが出せる、オンリーワンの音を世界に響かせて。

DIGIRECO.JR

平成25年12月18日（水）創刊
令和5年1月20日（金）発行

■DIGIRECO.JR（〒271-0801 千葉県市川市中央1-37-6-405）
■監修・発行：特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校音楽連盟協会 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川1-37-6-405

TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900

無料